



取 付 説 明 書

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。
取付けは必ず専門業者に依頼してください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	G T 2 スーパーチャージャーシステム プロキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド N o.	12001-AH011
取付説明書品番	E04215-H15112-00 Ver.3-3.03
メ ー カ ー 車 種	ホンダ CR-Z (DAA-ZF1)
エ ン ジ ン 型 式	LEA-MF6
対 応 年 式	2010/02～2012/08



備 考

※純正ウォッシャタンクを取外すため、必要に応じて別途
(DENSO 160200-5070 Washer Assy) 等をご用意ください。
※燃料は必ずハイオクを使用してください。

・本製品を使用時のエンジン及び補機類等の破損については一切保証を致しません。

○本製品は、HKS GT2スーパーチャージャー本体保証（以下 本体保証）が適用されます。

○本製品は、下記指定部品との組合せで使用してください。

・指定部品以外の部品を使用した場合にはエンジンが破損する場合があります。

プロキット指 定 部 品	
スパークプラグ	HKS スーパーファイヤーレーシング M40i 以上
エンジンオイル	HKS エンジンオイルシリーズ 高温粘度 25 以上

プロキット推 奨 部 品	
触媒	純正またはHKSメタルキャタライザー
中間パイプ	純正
マフラー	純正またはHKSサイレントハイパワー
燃料強化パーツ	HKS Fuel Upgrade Kit for GTSC

○本製品を下記使用条件下にて使用した場合には、本体保証をお受けになることはできません。

保証対象外となる使用条件
エンジン最大回転数の引き上げ、またはプーリー変更により、インペラ回転数を指定回転数以上で使用した場合。（インペラ回転数 最大 110,000rpm）

改訂の記録

改訂No.	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2018/03	初版
3-3.02	2021/07	品名の変更
3-3.03	2022/12	記載事項の変更

2022 年 12 月 22 日発行 （禁無断複写、転載） (株)エッチ・ケー・エス

目次

はじめに／本書・製品について／安全上の注意	2
パーツリスト	3
1. ノーマルパーツ取外し	7
2. トラクションフルードクーラー取付け	11
3. GT2スーパーチャージャー取付け	18
4. インタークーラー・パイピング取付け	28
5. ノーマルパーツ取付け	48
6. トラクションフルード注入	49
7. エンジンECUデータ書き換え	50
8. 取付け後の確認と、トラクションフルード量調整	51
9. 1ヶ月点検の実施	53
10. 維持・管理	54

はじめに

この度は、HKS GT2スーパーチャージャーシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品はプロキットとなっており、キット内のパーツのみでは走行できません。
制御ユニットに関してはお客様でセットアップし、リセッティングしてご使用ください。
安全にご使用いただき、機能を十分に発揮させるために本書をお読みください。
取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。
本書は取付けを行なう前に必ず読み、よく理解した上で作業を行なってください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行なわないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害について当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内モデルノーマル車両への取付けを基準に開発されています。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は複数の販売国の車両への共通の取付説明書の為、特定の車両のみに該当する項目については各項目末尾に※印にて車両の指定をしています。取付けする車両に該当する場合のみ、その項目の作業を行ってください。
- 本製品は複数の販売国の車両への共通の製品の為、取付けする車両に応じて、部品の余りがあります。余り部品に関しましては次頁パーツリスト内備考欄に記載してあります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業者又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業者又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損)

拡大物損の発生が想定される場合

(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車両の破損及び焼損))

パーツリスト

連番	品名	数量	備考
1	スーパーチャージャー本体 ASSY	1	GT2-7040
2	トラクションフルードフィルタエレメント	1	
3	トラクションフルードタンク	1	
4	トラクションフルード	1	
5	トラクションフルードクーラー	1	
6	フィッティングエルボ	2	
7	プーリーアイドラー $\phi 60$	2	
8	スーパーチャージャー本体プーリー	1	$\phi 90$
9	ベルト	1	4PK1240
10	インタークーラー	1	
11	リストリクタ $\phi 27$	1	穴径: $\phi 27$
12	リリーフバルブ ASSY	1	
13	エアクリーナ	1	$\phi 150 - \phi 80$ 湿式 2 層
14	ホース $\phi 4$	1	500mm
15	ホース $\phi 8$	1	3000mm
16	ホース $\phi 10$	1	1250mm
17	ホース $\phi 22$	1	500mm
18	耐油ホース $\phi 10$	1	1000mm
19	コルゲートチューブ センサ配線用	1	
20	コルゲートチューブ $\phi 8$ 用	1	
21	コルゲートチューブ $\phi 10$ 用	1	
22	コルゲートチューブ $\phi 22$ 用	1	
23	インタークーラーインレットパイプ No,1	1	
24	インタークーラーインレットパイプ No,2	1	
25	インタークーラーインレットパイプ No,3	1	

26	インタークーラーアウトレットパイプ No,1	1	
27	インタークーラーアウトレットパイプ No,2	1	
28	インタークーラーアウトレットパイプ No,3	1	
29	サクシヨンパイプ No,1	1	
30	サクシヨンパイプ No,2	1	
31	サクシヨンアダプタ	1	
32	スーパーチャージャーブラケット No,1	1	
33	スーパーチャージャーブラケット No,2	1	
34	テンシヨナブラケット No,1	1	
35	テンシヨナブラケット No,2	1	
36	トラクシヨンフルードタンクブラケット	1	
37	インタークーラーインレットパイプブラケット	1	
38	トラクシヨンフルードクーラーブラケット No,1	1	
39	トラクシヨンフルードクーラーブラケット No,2	1	
40	トラクシヨンフルードクーラーブラケット No,3	1	
41	インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,1	1	
42	インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,2	1	
43	インタークーラーブラケット	1	
44	サクシヨンパイプブラケット	1	
45	汎用パイプブラケット $\phi 50$ 用	3	
46	汎用パイプブラケット $\phi 80$ 用	1	
47	サクシヨンパイプガスケット	1	
48	シリコンホース $\phi 50$ L=20	2	
49	シリコンホース $\phi 50$ L=55	4	
50	シリコンホース $\phi 50$ L=70	1	
51	シリコンホース $\phi 60$ L=55	1	
52	シリコンホース $\phi 70$ L=20	2	

53	シリコンホース $\phi 80$ L=55	1	
54	異径シリコンホース $\phi 60 - \phi 80$	1	
55	クッションホース $\phi 50$ L=75	2	
56	クッションホース $\phi 60$ L=75	1	
57	スペーサ M4 L=1.5	2	真鍮製
58	スペーサ M8 L=5	1	
59	スペーサ M8 L=10	1	※JDM 車両の場合不要
60	スペーサ M8 L=25	2	
61	スペーサ M10 L=4	2	
62	ホースニップル $\phi 4$ 用	1	
63	ホースニップル $\phi 10$ 用	3	
64	ホースクリップ $\phi 8$ 用	3	
65	ホースクリップ $\phi 10$ 用	2	
66	ホースバンド #4	5	
67	ホースバンド #16	2	
68	ホースバンド #28	16	
69	ホースバンド #36	6	
70	ホースバンド #40	2	
71	ホースバンド #48	3	
72	エルボ PT1/8	1	
73	チーズ PT1/8	1	
74	六角ボルト M6 L=15	8	
75	六角ボルト M8 L=15	4	
76	六角ボルト M8 L=20	3	
77	六角ボルト M8 L=30	1	※JDM 車両の場合不要
78	六角ボルト M10 L=20	1	
79	ボタンボルト M4 L=12	1	エアフロアダプタ用

80	キャップボルト M6 L=12	5	ローヘッドタイプ
81	キャップボルト M6 L=18	3	
82	キャップボルト M8 L=20	2	
83	キャップボルト M8 L=50	2	
84	キャップボルト M8 L=70	1	
85	キャップボルト M10 L=20	2	
86	キャップボルト M10 L=35	3	
87	キャップボルト M10 L=45	1	
88	皿ボルト M8 L=35	3	
89	スプリングワッシャ M6	8	
90	スプリングワッシャ M8	7	
91	スプリングワッシャ M10	1	
92	ワッシャ M6	11	
93	ワッシャ M8	12	
94	ワッシャ M10	7	
95	フランジナット M6	4	
96	フランジナット M8	6	
97	フランジナット M10	1	
98	スポンジシート	3	
99	タイラップ 大	5	
100	タイラップ 中	10	
101	タイラップ 小	10	
102	ハイオクステッカー	1	
103	取扱説明書/保証書	1	
104	取付説明書	1	本書
105	初期化ツール(USB メモリ)	1	

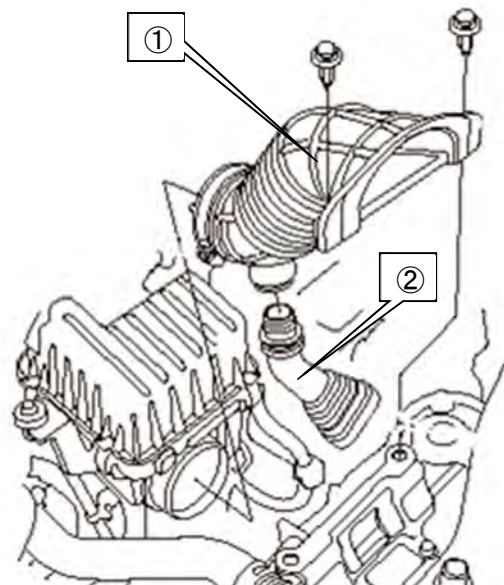
1. ノーマルパーツ取外し

整備要領書に従って作業を行なう。

(1) バッテリーのマイナス端子接続を取外す。

(2) ① インテークエアチューブを取外す。

(3) ② レゾネータチャンバジョイントを取外す。



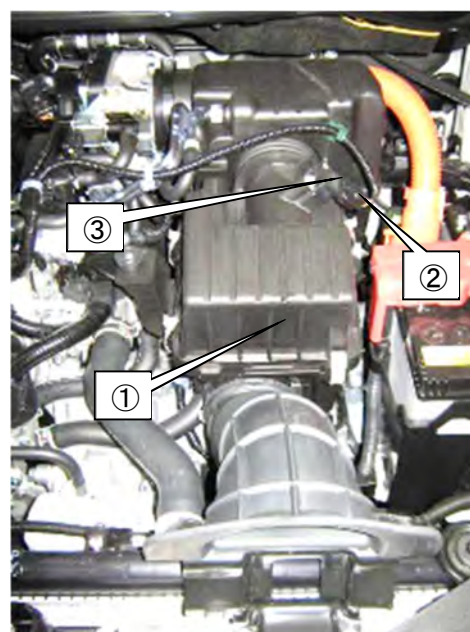
(4) ① 純正エアクリーナを取外す。

(5) ② エアフロセンサコネクタを取外す。

(6) ③ エアフロセンサを取外す。

アドバイス

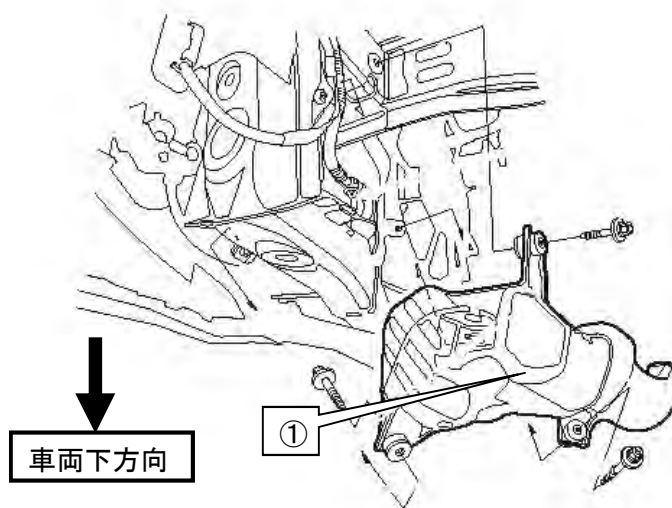
- ・ エアフロセンサを取付けているボルトは再使用する。



(7)運転席側・助手席側スプラッシュシールドを取外す。

(8)エンジンアンダーカバーを取外す。

(9)①レゾネータを取外す。



(10)①フロントバンパサイドカバーを取外す。

(11)②フロントバンパセンターシールを取外す。

(12)③フロントバンパを取外す。

(13)④フロントバンパセンターアッパービームを取外す。



(14)①フロントバンパエアガイドを取外す。



(15)運転席側ヘッドライトを取外す。

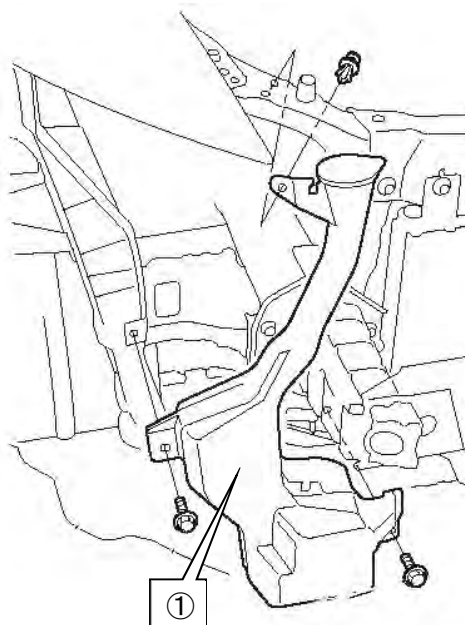
(16)ポンプについているコネクタ・ホースを抜き

①ウォッシャタンクを取外す。

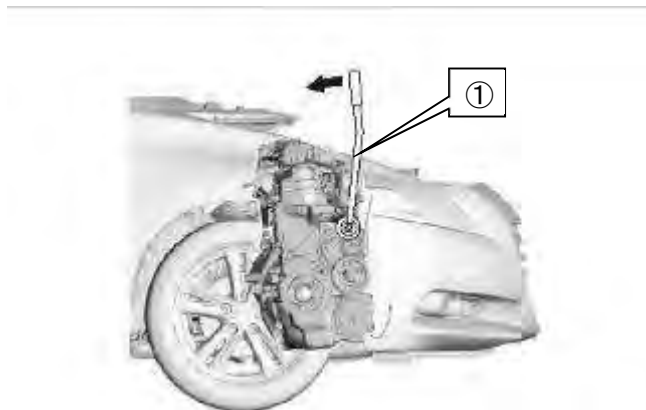
アドバイス

・純正ウォッシャタンクを取外すため、
別途必要に応じて（DENSO 160200-5070 Washer Assy）等をご用意ください。

(17)運転席側ヘッドライトを取付ける。

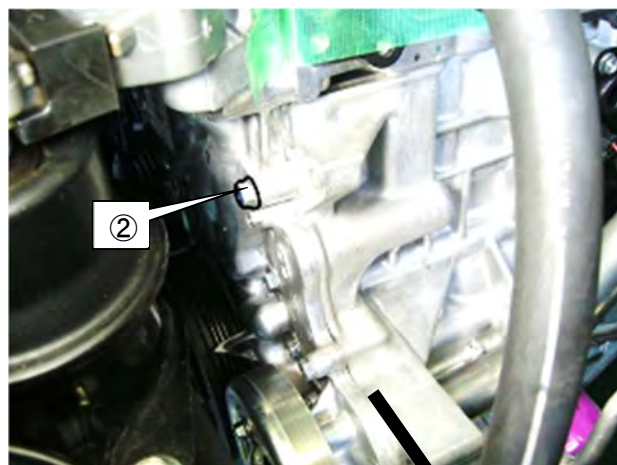
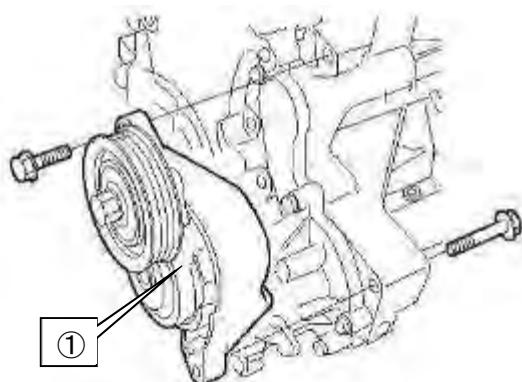


(18)オートテンショナプリーボルトに①のように
ホンダ純正専用工具・メガネレンチ等を取付け、
オートテンショナプリーを
反時計回り方向に動かしてベルトを取外す。



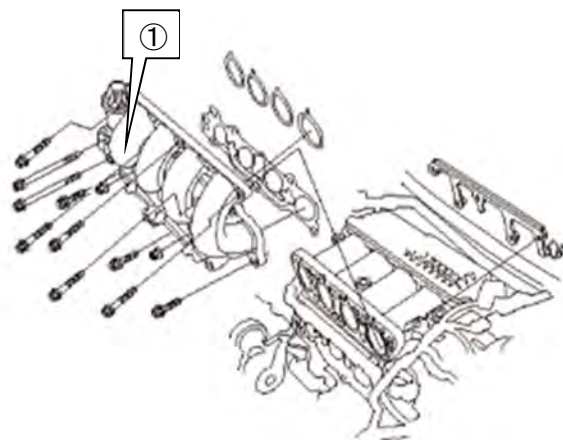
(19)①オートテンショナを取外す。

(20)②ボルトを取外す。



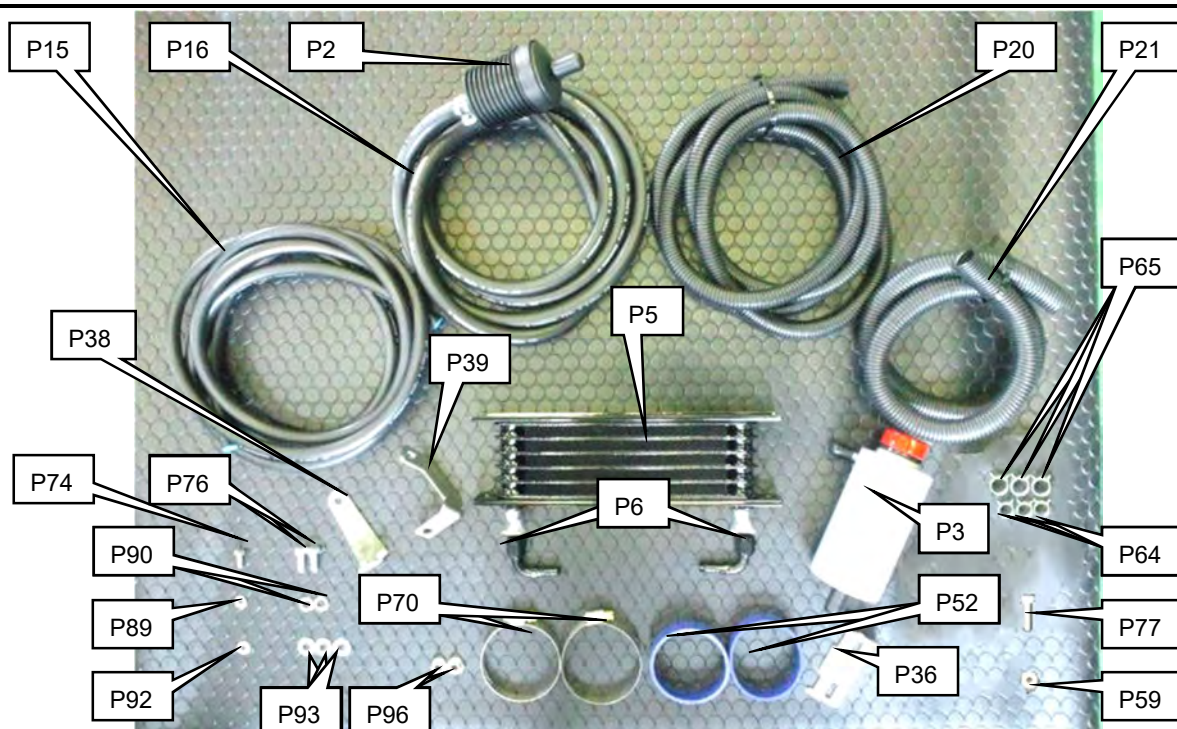
車両前方向

(21) ①インテークマニホールドを取外す。



2. トラクションフルードクーラー取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P2	トラクションフルードフィルタエレメント	1
P3	トラクションフルードタンク	1
P5	トラクションフルードクーラー	1
P6	フィッティングエルボ	2
P15	ホース $\phi 8$	1
P16	ホース $\phi 10$	1
P20	コルゲートチューブ $\phi 8$ 用	1
P21	コルゲートチューブ $\phi 10$ 用	1
P36	トラクションフルードタンクブラケット	1
P38	トラクションフルードクーラーブラケット No.1	1
P39	トラクションフルードクーラーブラケット No.2	1
P52	シリコンホース $\phi 70$ L=20	2
P59	スペーサ M8 L=10	1
P64	ホースクリップ $\phi 8$ 用	3
P65	ホースクリップ $\phi 10$ 用	3
P70	ホースバンド #40	2
P74	六角ボルト M6 L=15	1
P76	六角ボルト M8 L=20	2
P77	六角ボルト M8 L=30	1
P89	スプリングワッシャ M6	1
P90	スプリングワッシャ M8	2
P92	ワッシャ M6	1
P93	ワッシャ M8	3
P96	フランジナット M8	2

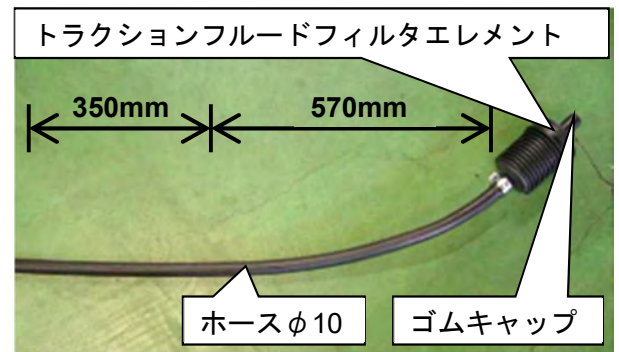
(1) ホースφ8を1000mmと1250mm

ホースφ10を350mmと570mmに切断する。

アドバイス

・ホースφ10は梱包時にフルードフィルタエレメントに接続してある為、取り外さずに、ホースの接続してある口から570mm・350mmを切断する。

(2)トラクションフルードフィルタエレメントについているゴムキャップを取外す。



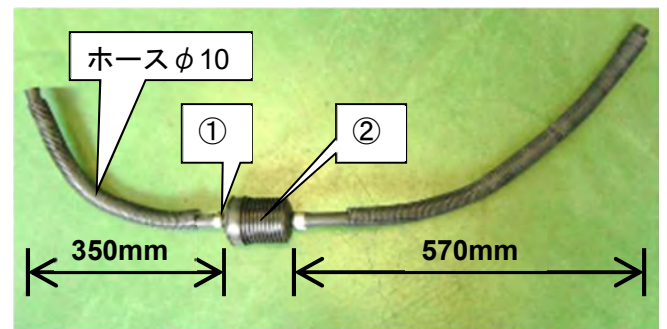
(3)コルゲートチューブφ8用を1000mmと1250mm

コルゲートチューブφ10用を350mmと570mmに切断し各ホースに取付ける。

(4)ホースφ10を

①ホースクリップφ10用を用い、

②トラクションフルードフィルタエレメントに取付ける。



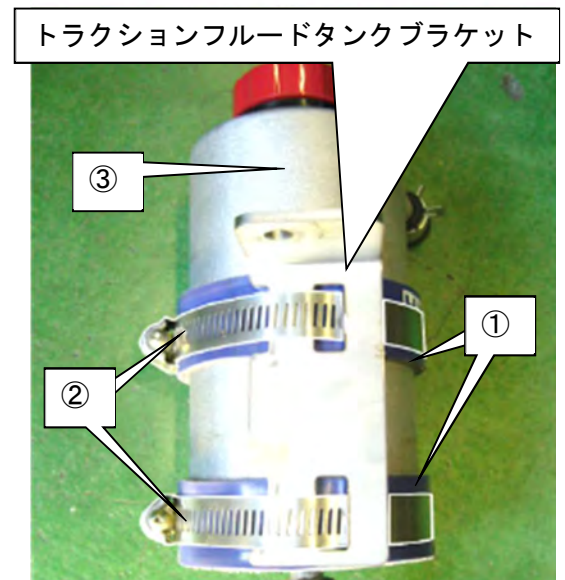
(5)トラクションフルードタンクブラケットを、

①シリコンホースφ70 L=20

②ホースバンド #40

を用い、

③トラクションフルードタンク
に取付ける。



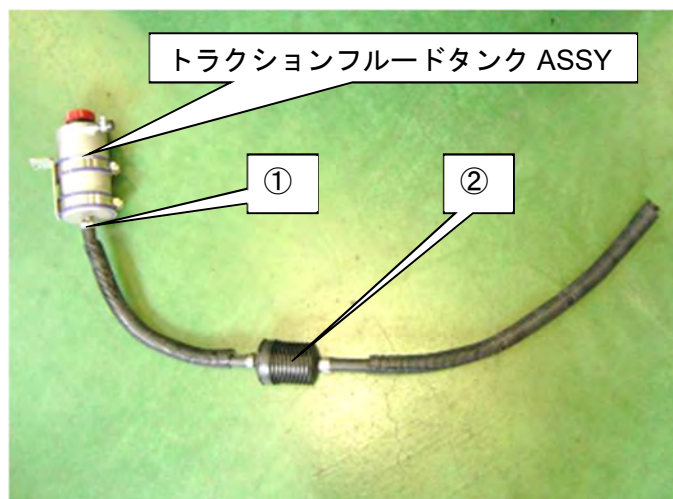
(6)トラクションフルードタンク ASSY 下部ニップルの
ゴムキャップを取外し、

①ホースクリップφ10 用

を用い、

②ホース φ10ASSY

と接続する。



(7)ホースを図のように取回し、トラクションフルードタンク ASSY を

①六角ボルト M6 L=15

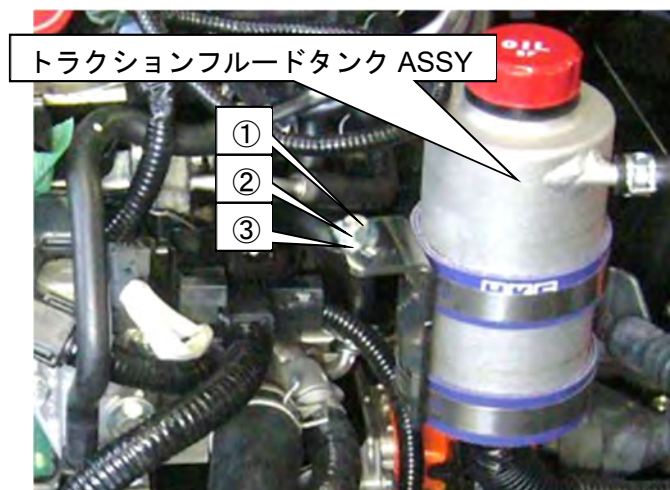
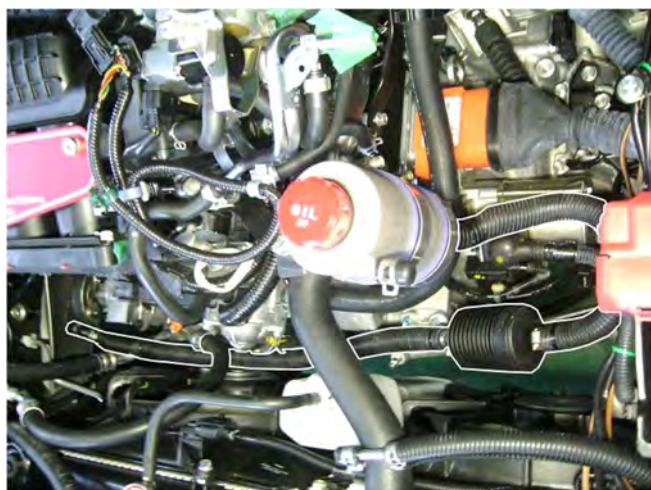
②スプリングワッシャ M6

③ワッシャ M6

を用い、車両に取付ける。

アドバイス

・ホースがキンクしないようトラクションフルードタンク ASSY の角度を調整する。



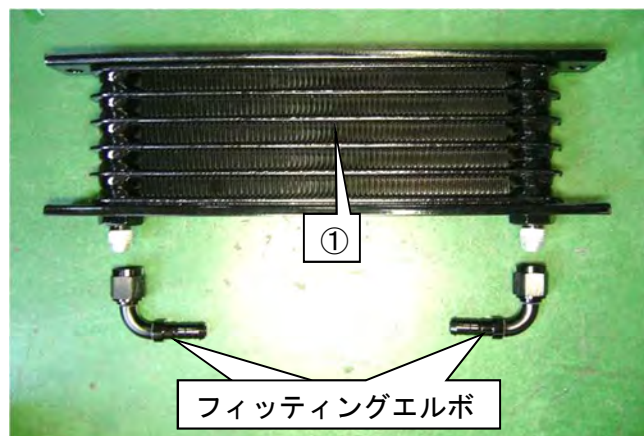
(8) フィッティングエルボを

①トラクションフルードクーラー

に取付ける。

アドバイス

・図のようにフッティングエルボの口がそれぞれ内側を向くように固定する。



(9)①ホース φ8 L=1000 ・

②ホース φ8 L=1250 を

③ホースクリップ φ8 用

を用い、トラクションフルードクーラーに取付ける。

(10)④トラクションフルードクーラーブラケット No,1

⑤トラクションフルードクーラーブラケット No,2 を

⑥六角ボルト M8 L=20

⑦スプリングワッシャ M8

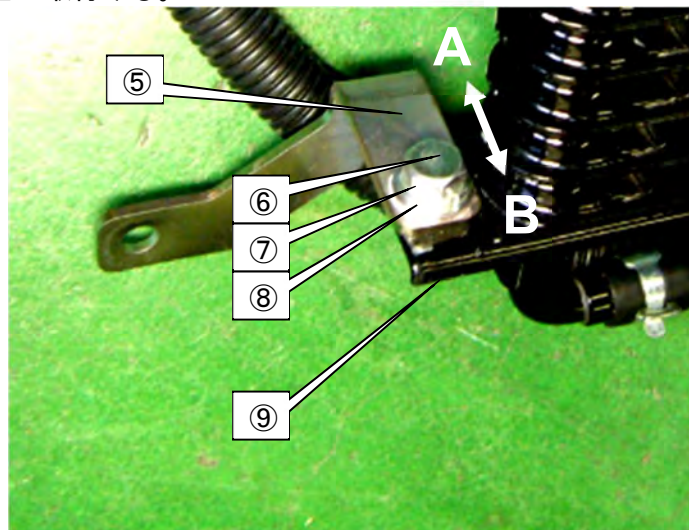
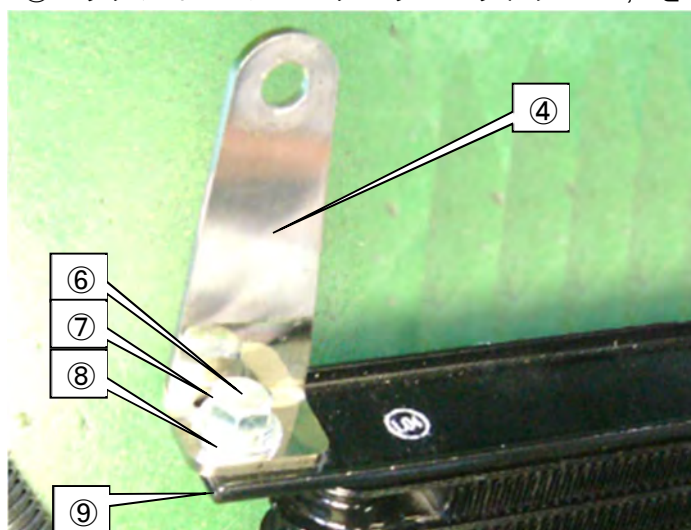
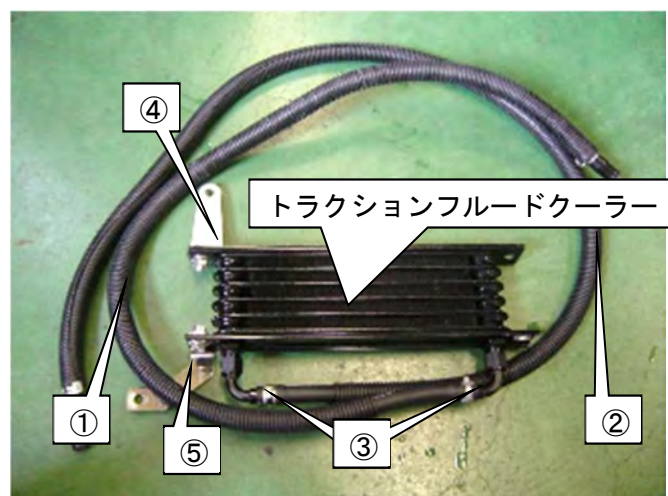
⑧ワッシャ M8

⑨フランジナット M8

を用い、トラクションフルードクーラーに取付ける。

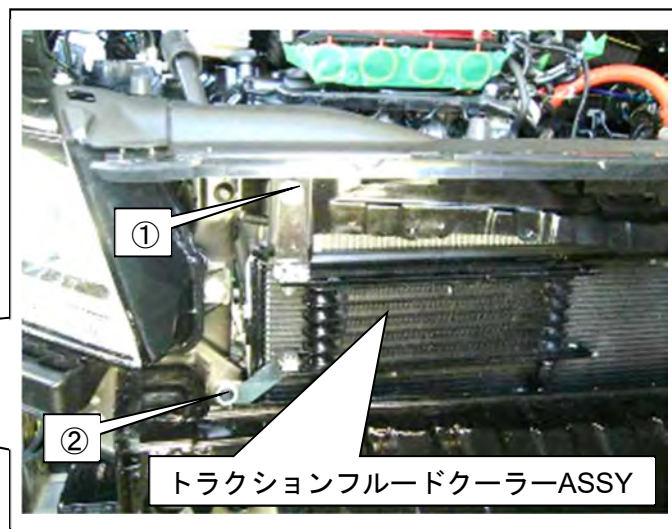
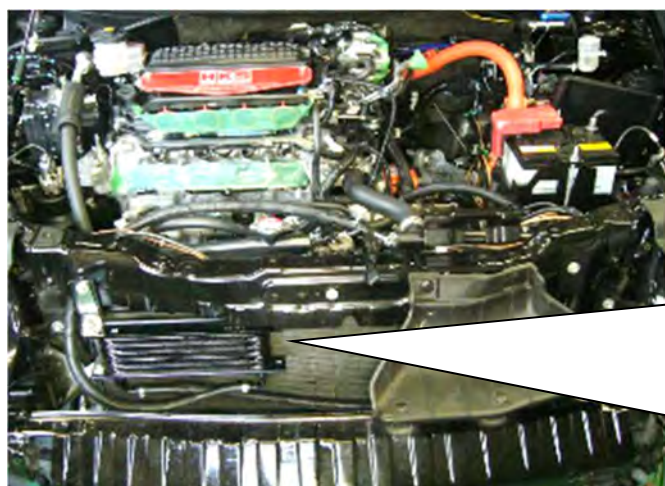
アドバイス

・⑤トラクションフルードクーラーブラケット No,2 を取付ける際
取付け部が長穴になっている為 JDM 車両の場合 A 方向に、USDM 車両の場合 B 方向に
⑤トラクションフルードクーラーブラケット No,2 を寄せて取付ける。



(11)①・②のボルトを取外しトラクションフルードクーラーASSY を
共締めして、車両に取付ける。

※JDM 車両のみ



(12)①・②の純正ボルトを取外し、①ボルトは再使用②ボルトは代わりに

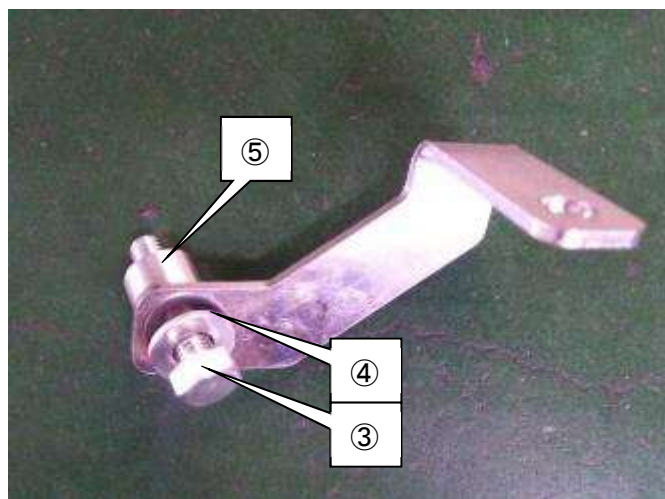
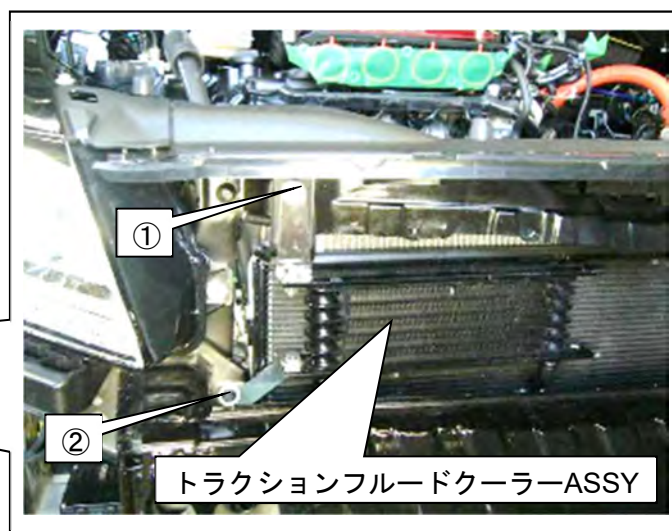
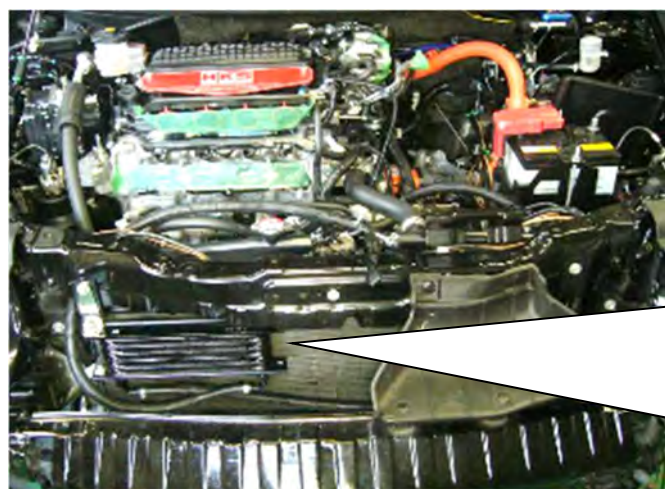
③六角ボルト M8 L=30

④ワッシャ M8

⑤スペーサ M8 L=10

を用い、トラクションフルードクーラーASSY を共締めして、車両に取付ける。

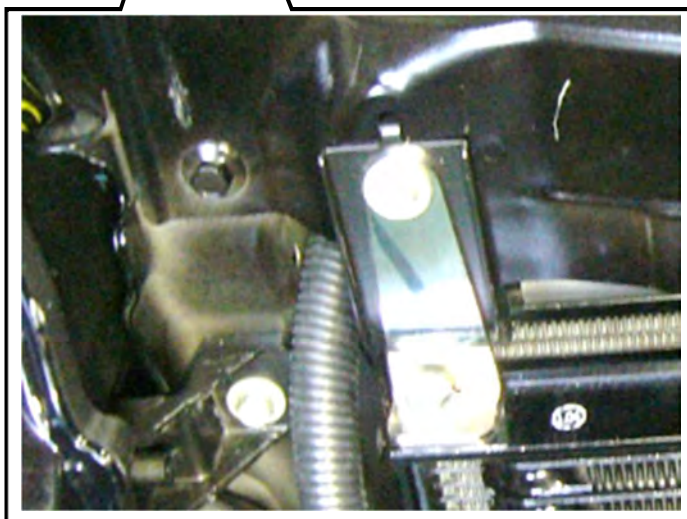
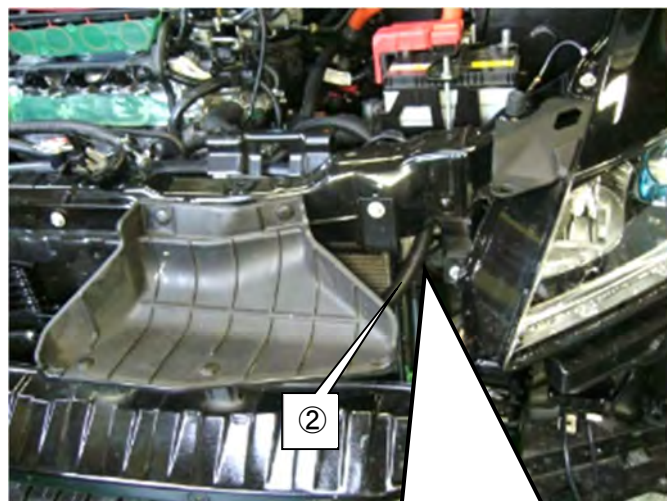
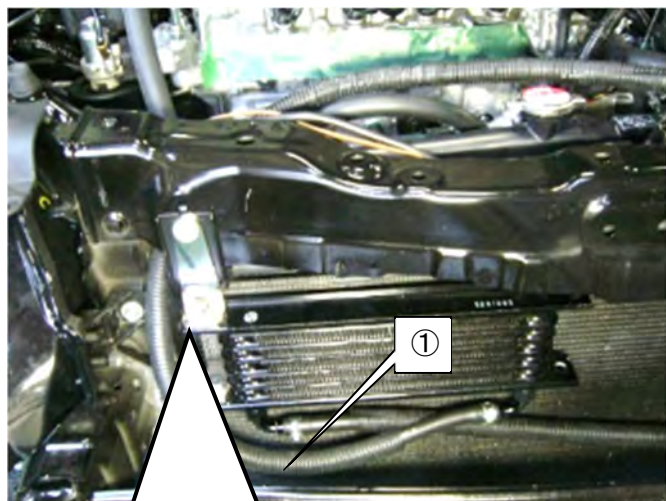
※USDM 車両のみ



(13) ①ホース $\phi 8$ L=1000

②ホース $\phi 8$ L=1250

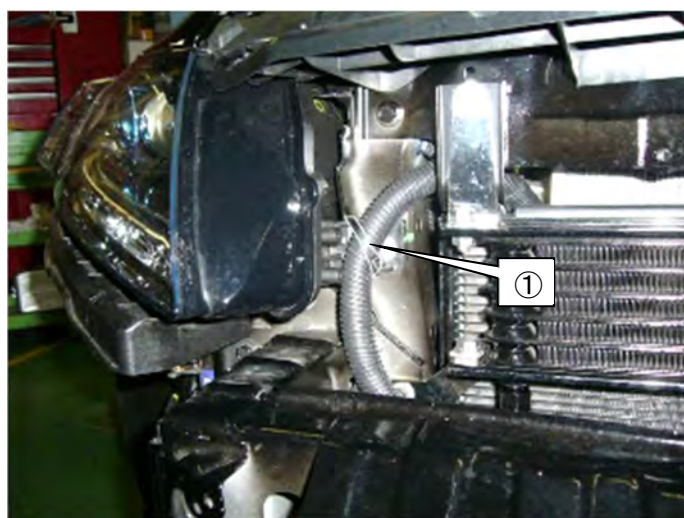
を、A/C コンデンサの両端からエンジンルーム内に引き込む。



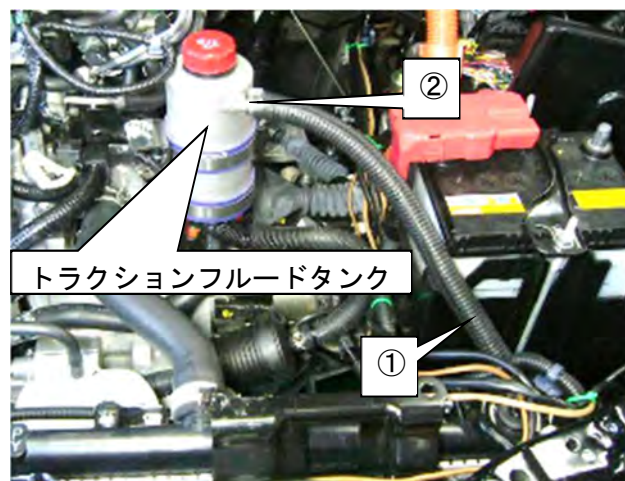
(14) トラクションフルードホース $\phi 8$ と他部品が干渉しないように図中①部にタイラップを用い、固定する。

アドバイス

・指示箇所以外にも必要に応じてタイラップを用いトラクションフルードホースが他部品と干渉しないように固定する。



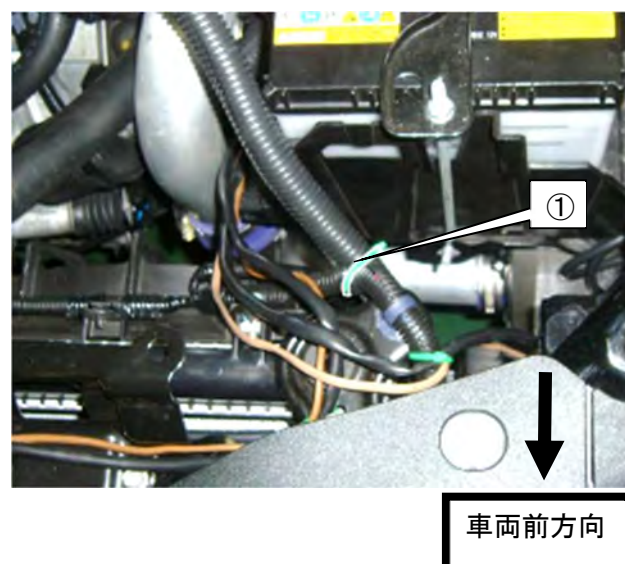
(15) ①ホース $\phi 8$ L=1250 を
②ホースクリップ $\phi 8$ 用
を用い、トラクションフルードタンクに接続する。



(16) トラクションフルードホース $\phi 8$ と他部品が
干渉しないように図中①部に
タイラップ を用い、固定する。

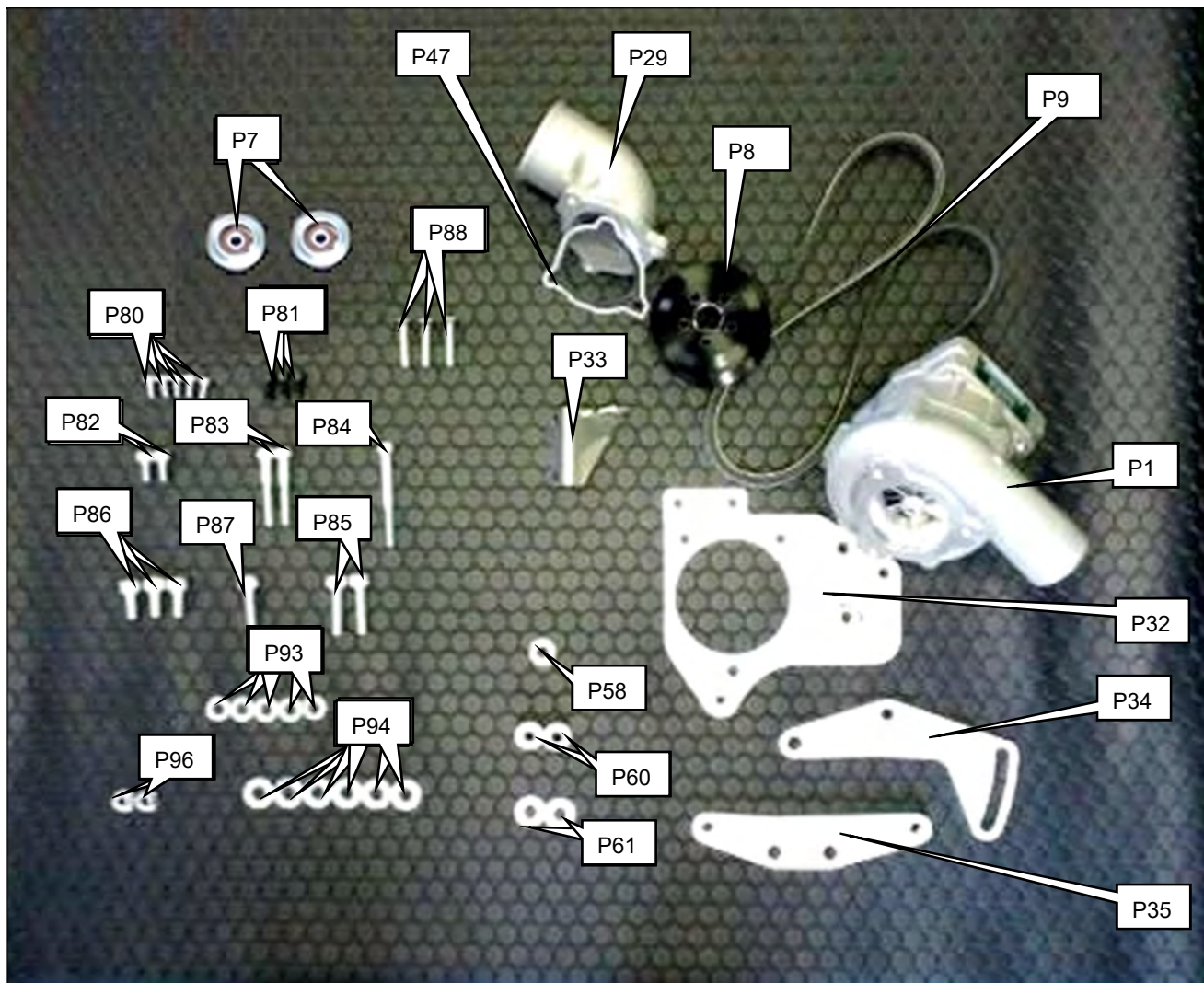
アドバイス

・ 指示箇所以外にも必要に応じてタイラップ を用い
トラクションフルードホースが他部品と
干渉しないように固定する。



3. GT2スーパーチャージャー取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P1	スーパーチャージャー本体 ASSY	1
P7	プーリー アイドラー φ60	2
P8	スーパーチャージャー本体プーリー	1
P9	ベルト	1
P29	サクションパイプ No,1	1
P32	スーパーチャージャーブラケット No,1	1
P33	スーパーチャージャーブラケット No,2	1
P34	テンショナブラケット No,1	1
P35	テンショナブラケット No,2	1
P47	サクションパイプガasket	1
P58	スペーサ M8 L=5	1
P60	スペーサ M8 L=25	2
P61	スペーサ M10 L=4	2

P80	キャップボルト M6 L=12	5
P81	キャップボルト M6 L=18	3
P82	キャップボルト M8 L=20	2
P83	キャップボルト M8 L=50	2
P84	キャップボルト M8 L=70	1
P85	キャップボルト M10 L=20	2
P86	キャップボルト M10 L=35	3
P87	キャップボルト M10 L=45	1
P88	皿ボルト M8 L=35	3
P93	ワッシャ M8	5
P94	ワッシャ M10	6
P96	フランジナット M8	2

(1) プーリーアイドラー φ60 を

①キャップボルト M10 L=45

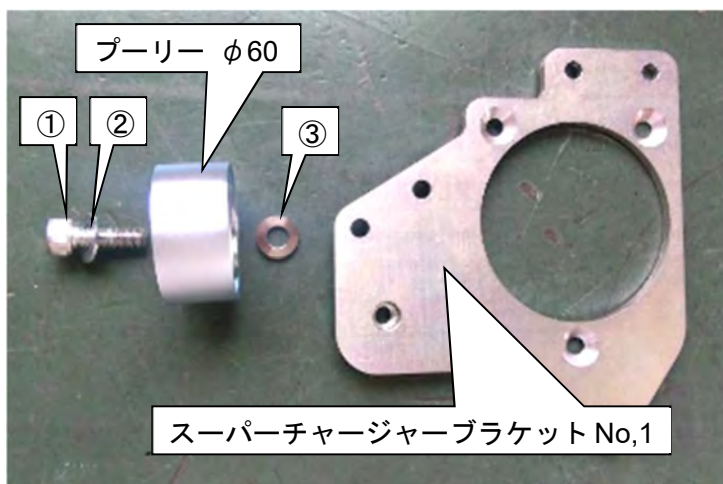
②ワッシャ M10

③スペーサ M10 L=4

を用い、スーパーチャージャーブラケット No,1 に
取付ける。

締付けトルク N・m (kgf・m)

T=43 (4. 38)



アドバイス

・プーリーには表裏がある為、図を参考に、
スナップリングが見える側を上にして固定する。



(2)スーパーチャージャーブラケット No,1 を

①キャップボルト M8 L=70

②キャップボルト M8 L=50

③ワッシャ M8

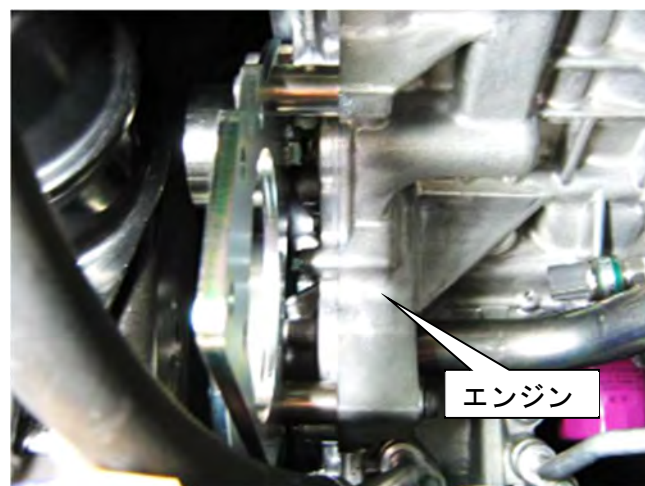
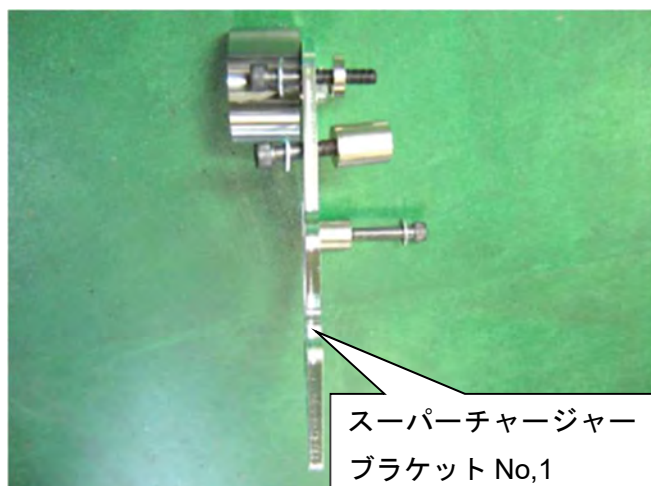
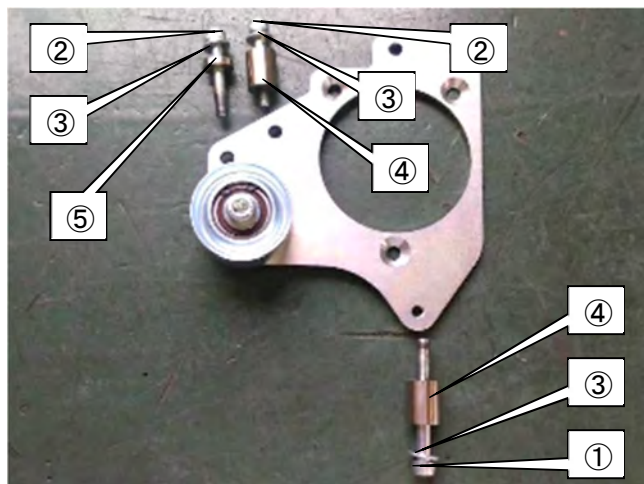
④スペーサ M8 L=25

⑤スペーサ M8 L=5

を用い、エンジンに取付ける。

締付けトルク N・m (kgf・m)

T=24 (2.45)



(3)純正エンジンオイルレベルゲージを

車両から取外し、図のように切断する。

その後、先端に穴を開け、付属のタイラップで輪を作り、持ち手とする。



(4)加工した純正エンジンオイルレベルゲージを

車両に取付ける。

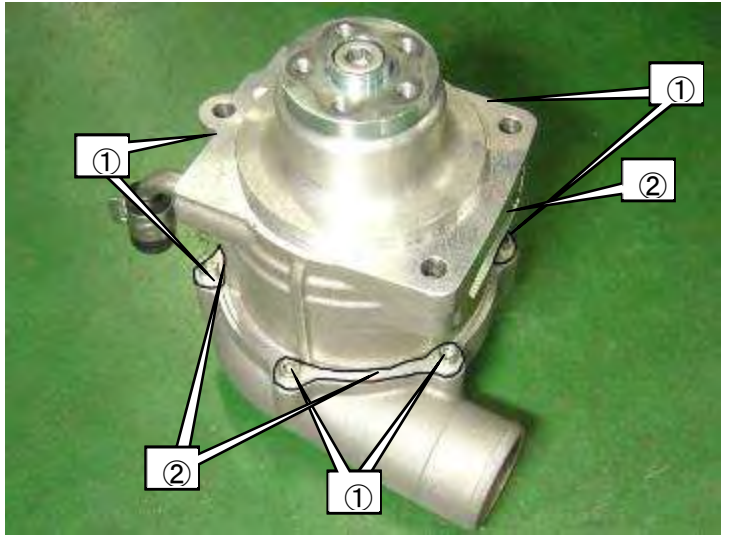


(5)スーパーチャージャー本体 ASSY の

①コンプレッサハウジング固定ボルト

を、緩め

②コンプレッサハウジング固定プレートを浮かせる。



(6)スーパーチャージャー本体と

③コンプレッサハウジングを回転させ

④スーパーチャージャーASSY のプレートの両端の中心線と

⑤2本のコンプレッサハウジング固定ボルト間の中心線が

12mm ずれるように角度出しをし、

①コンプレッサハウジング固定ボルト

②コンプレッサハウジング固定プレートを

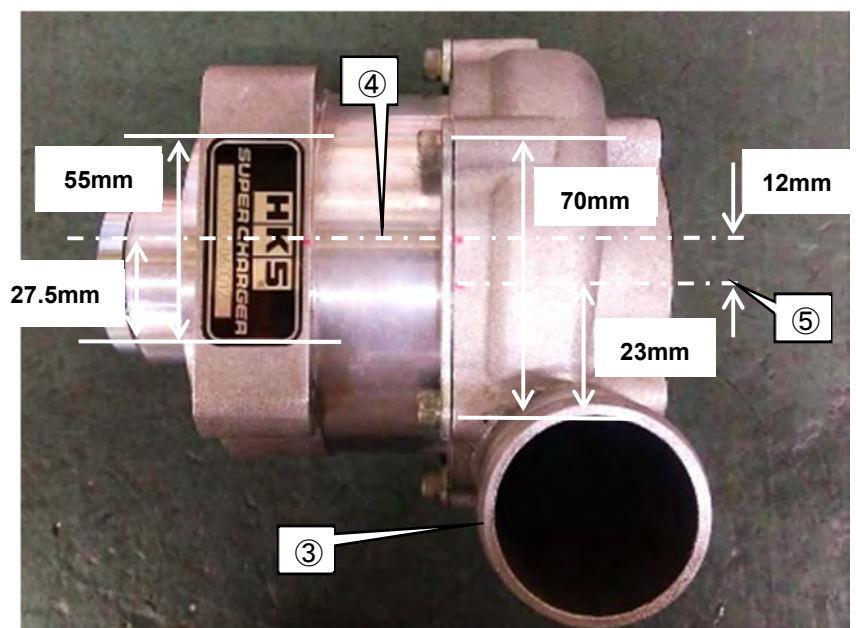
を用い、固定する。

アドバイス

・角度出し終了後、スーパーチャージャー本体 ASSY・純正インテークマニホールドを車両に仮付けして、サクシオンパイプを仮付けする。その後、干渉が無いかを確認し、干渉があれば再度、角度出しの微調整をする。

締付けトルク N・m (kgf・m)

T=5 (0.51)



(7) スーパーチャージャー本体 ASSY から、ゴムキャップ、ホースクリップを取り外し、

①ホース $\phi 8$ L=1000

②ホース $\phi 10$ L=570

をスーパーチャージャー本体 ASSY から取外した

③ホースクリップ $\phi 8$ 用

④ホースクリップ $\phi 10$ 用

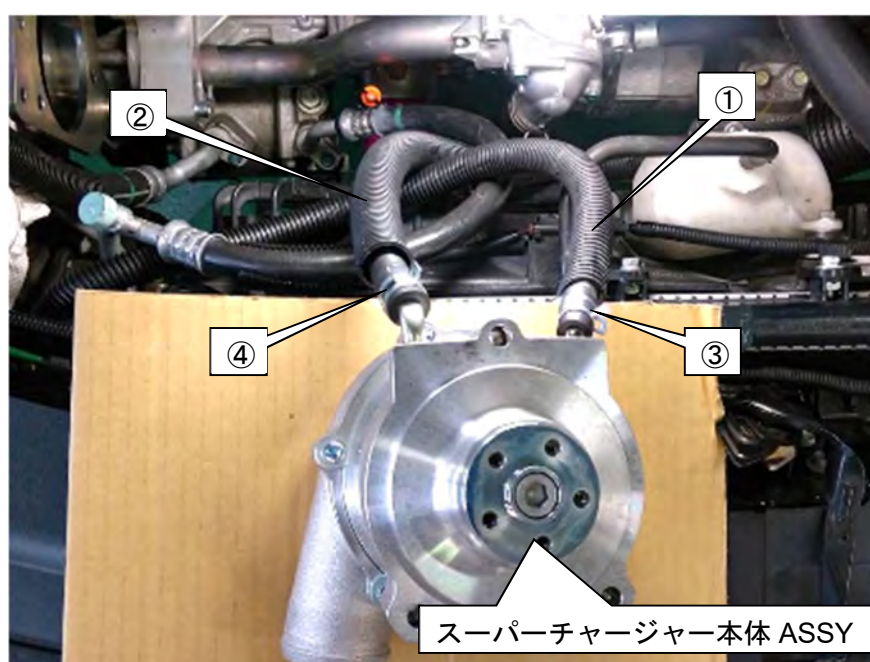
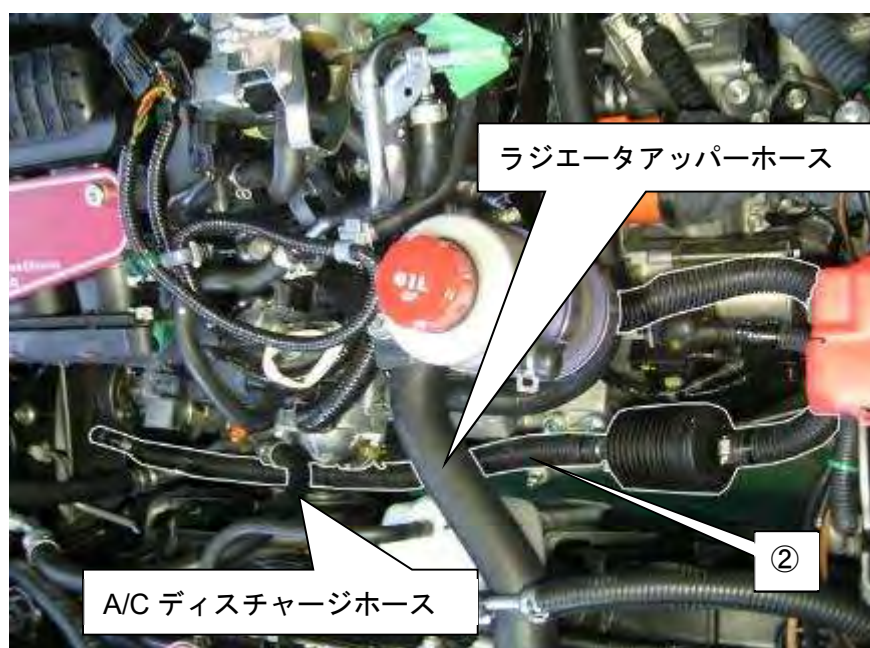
を用い、スーパーチャージャー本体 ASSY に接続する。

アドバイス

・図のようにラジエータコアサポート上に緩衝材を置きスーパーチャージャーを乗せて作業をする。

・ホース $\phi 10$ L=570 はラジエータアッパーホース・A/C ディスチャージホースの下側を通し、スーパーチャージャー本体 ASSY に接続する。

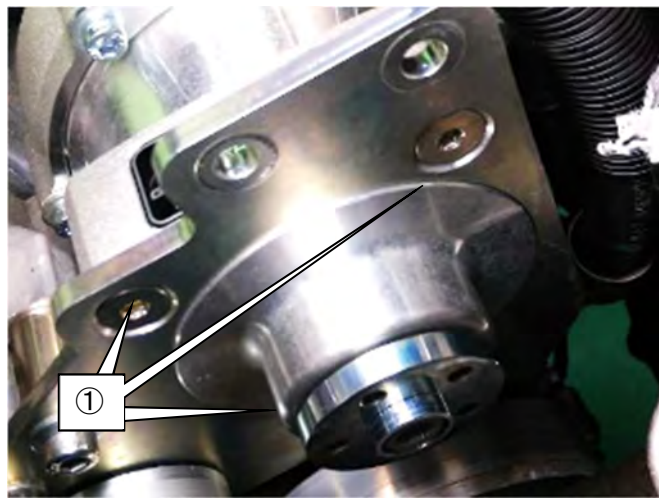
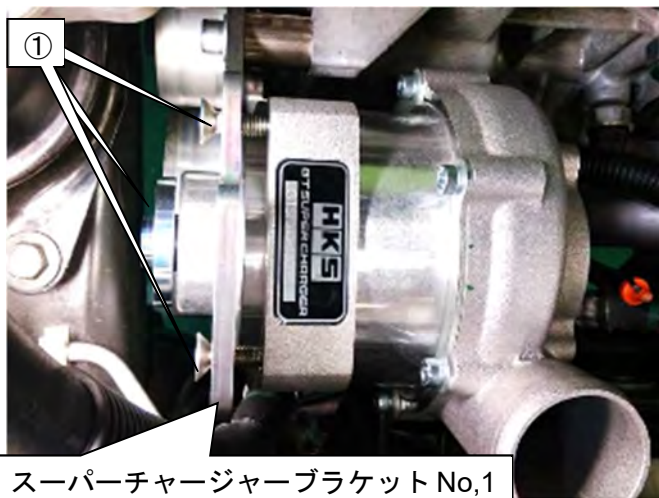
・ホース $\phi 10$ L=570 はスーパーチャージャー本体 ASSY を車両に取付けた際にホース $\phi 8$ L=1000 の下側を通るように接続する。



(8)スーパーチャージャー本体 ASSY を

①皿ボルト M8 L=35

を用い、スーパーチャージャーブラケット No,1 に
取付ける。



(9)スーパーチャージャー本体プーリーを

①キャップボルト M6 L=12

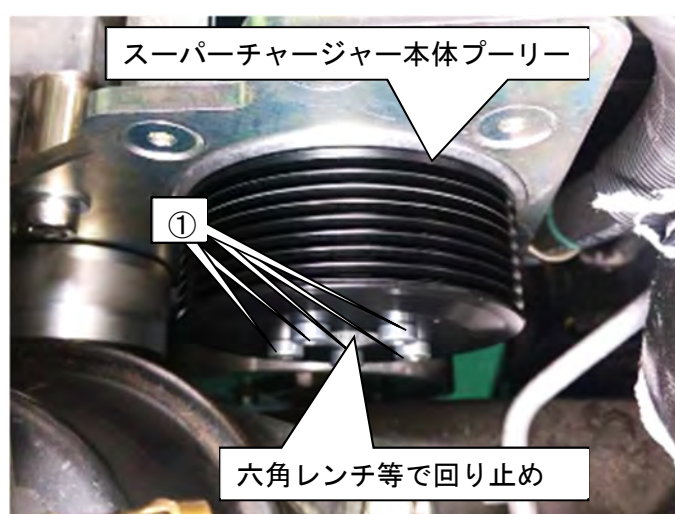
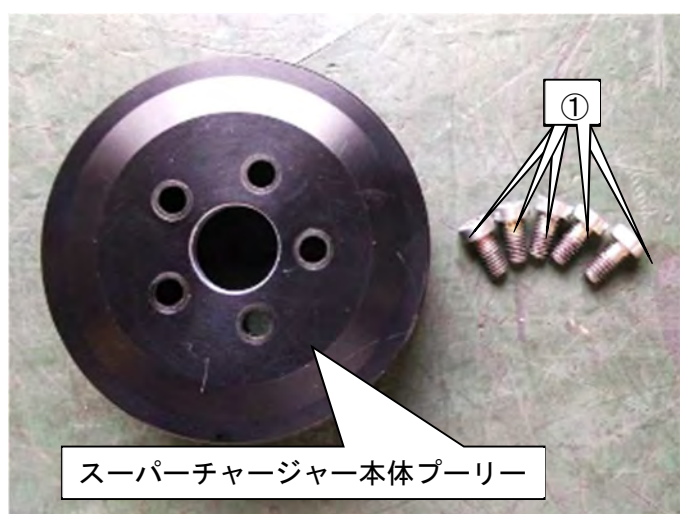
を用い、スーパーチャージャー本体 ASSY に取付ける。

アドバイス

・キャップボルトへキサゴンの締付けの際、
スーパーチャージャー本体 ASSY の
センターが回らないように
六角レンチ等で回り止めをする。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=10(1.02)

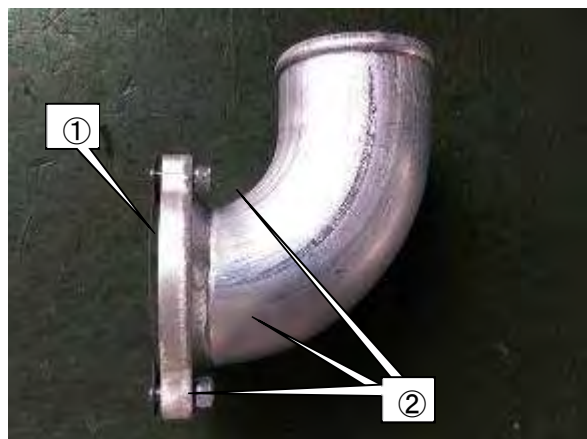


(10)サクションパイプ No,1 を

①サクションパイプガスケット

②キャップボルト M6 L=18

を用い、スーパーチャージャー本体 ASSY に取付ける



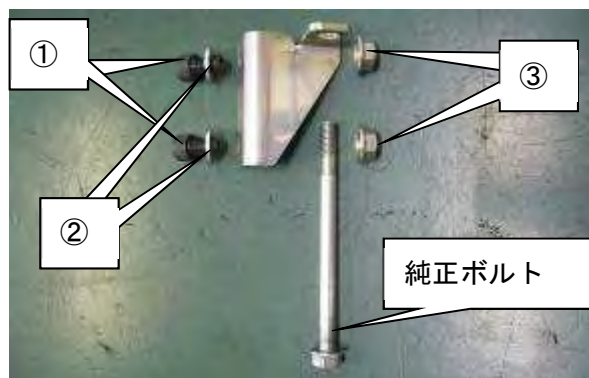
(11)純正インテークマニホールドを取付け、
純正ボルト

①キャップボルト M8 L=20

②ワッシャ M8

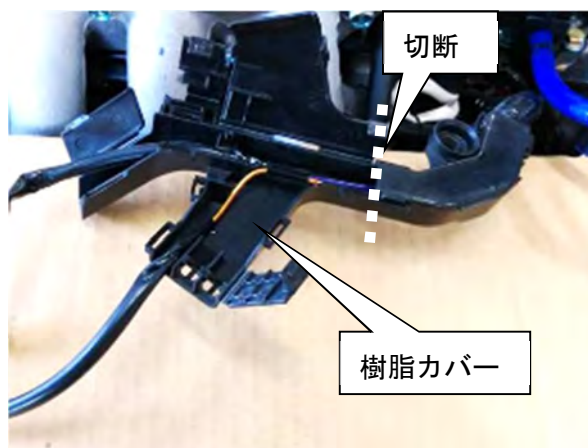
③フランジナット M8

を用い、スーパーチャージャーブラケット No,2 を取付ける。



(12)ノックセンサハーネス、オイルプレッシャセンサハーネスを覆っている、
樹脂製カバーを加工する。

右図の点線部で樹脂カバーを切断。

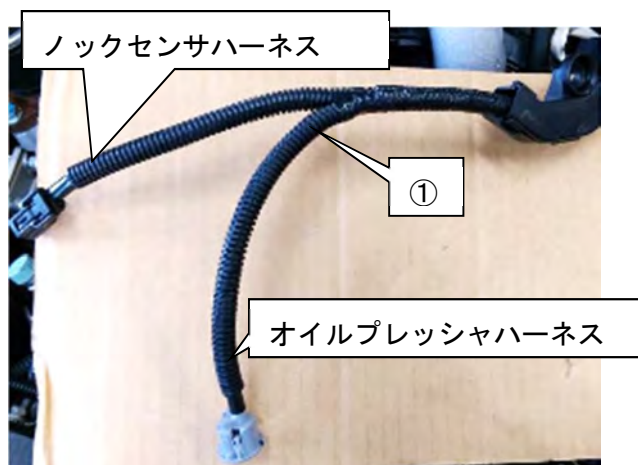


(13)樹脂カバー切断後、付属の

①コルゲートチューブ センサ配線用

にて、ノックセンサ、オイルプレッシャセンサハーネスを覆う。

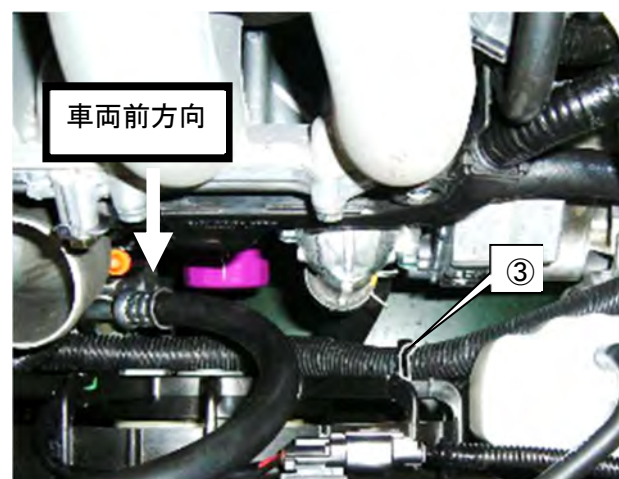
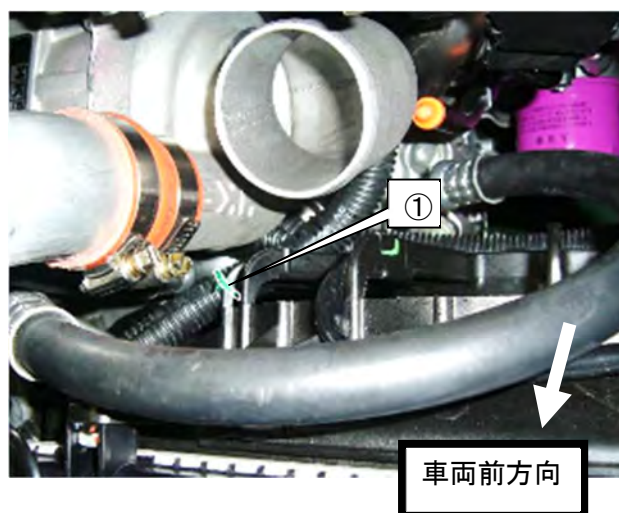
その後、純正ボルトを使用し、配線を固定する。



(14)トラクションフルードホース $\phi 8 \cdot \phi 10$ と他部品が干渉しないように図中①～③部にタイラップを用い、固定する。

アドバイス

・指示箇所以外にも必要に応じてタイラップを用いトラクションオイルホースが他部品と干渉しないように固定する。



(15) テンショナブラケット No.2 を

①キャップボルト M10 L=35

②ワッシャ M10

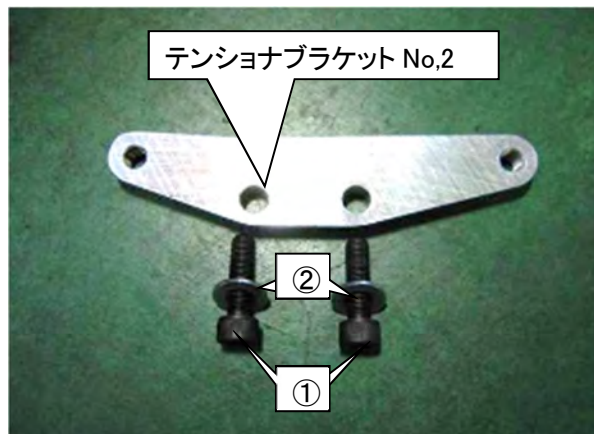
を用い、エンジン下部に取付ける。

アドバイス

・テンショナブラケット No.2 には向きがあるため、図を参考に表裏に注意して取付けを行なう。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=43 (4. 38)



(16)プーリー φ60 を

①キャップボルト M10 L=35

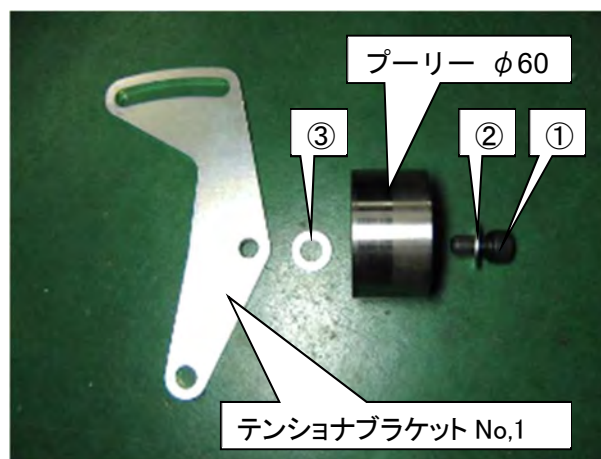
②ワッシャ M10

③スペーサ M10 L=4

を用い、テンショナブラケット No.1 に取付ける。

締付けトルク N・m(kgf・m)

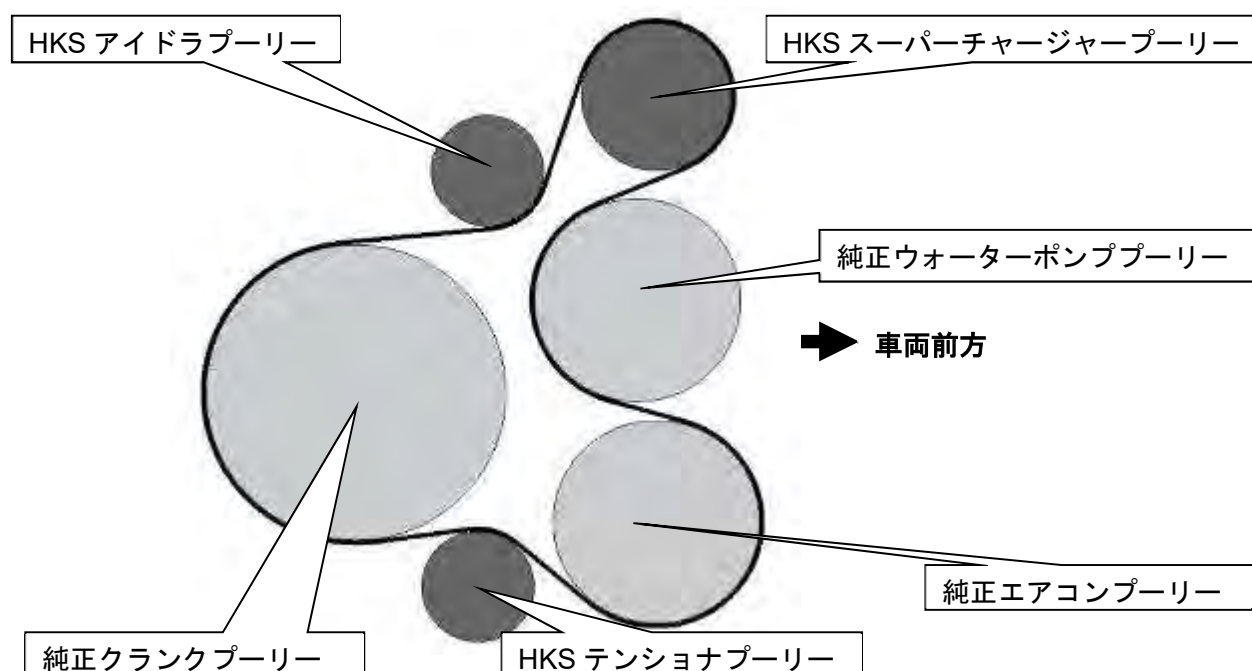
T=35 (3. 57)



(17)ベルトを図のようなレイアウトで取付ける。

アドバイス

- ・取付けが難しい場合は純正クランクプーリーを時計回りに回転させながらベルトを取付ける。
- ・HKS スーパーチャージャープーリーは 8 リブ仕様の為、ベルトは助手席側の 4 リブに取付ける。

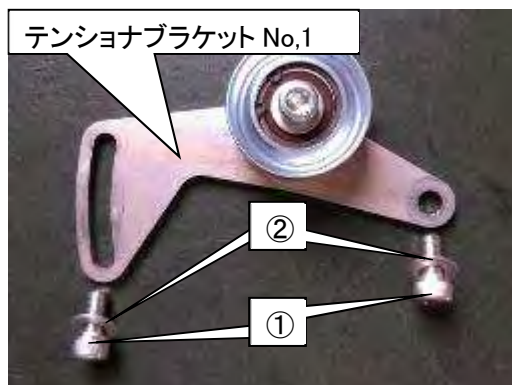


(18) テンショナブラケット No,1 を

①キャップボルト M10 L=20

②ワッシャ M10

を用い、テンショナブラケット No,2 に取付け、テンショナブラケット No,1 を上下させ、指定張力でベルトを張る。



計測位置	ベルトスパン※	指定張力 (N { kgf })
アイドラプーリー・クランクプーリー間	130mm	650{66.3}

※ベルトスパンは張力測定時に測定器に入力してください。

アドバイス

- ・ベルト取付け直後の張り点検は、基準値に調整後プーリー間張力のバラツキをなくすため、クランクシャフトを 2 回転以上回して再測定し、基準値に調整する。
- ・ベルトは使用開始後、使用状況により 2～20 時間で張力が安定するため指定張力になるように必ず点検・調整を行なう。使用開始直後はベルトの伸びも大きいため、こまめに点検、調整を行なう。
- ・ベルトが各プーリーの溝にしっかり合っているか確認する。

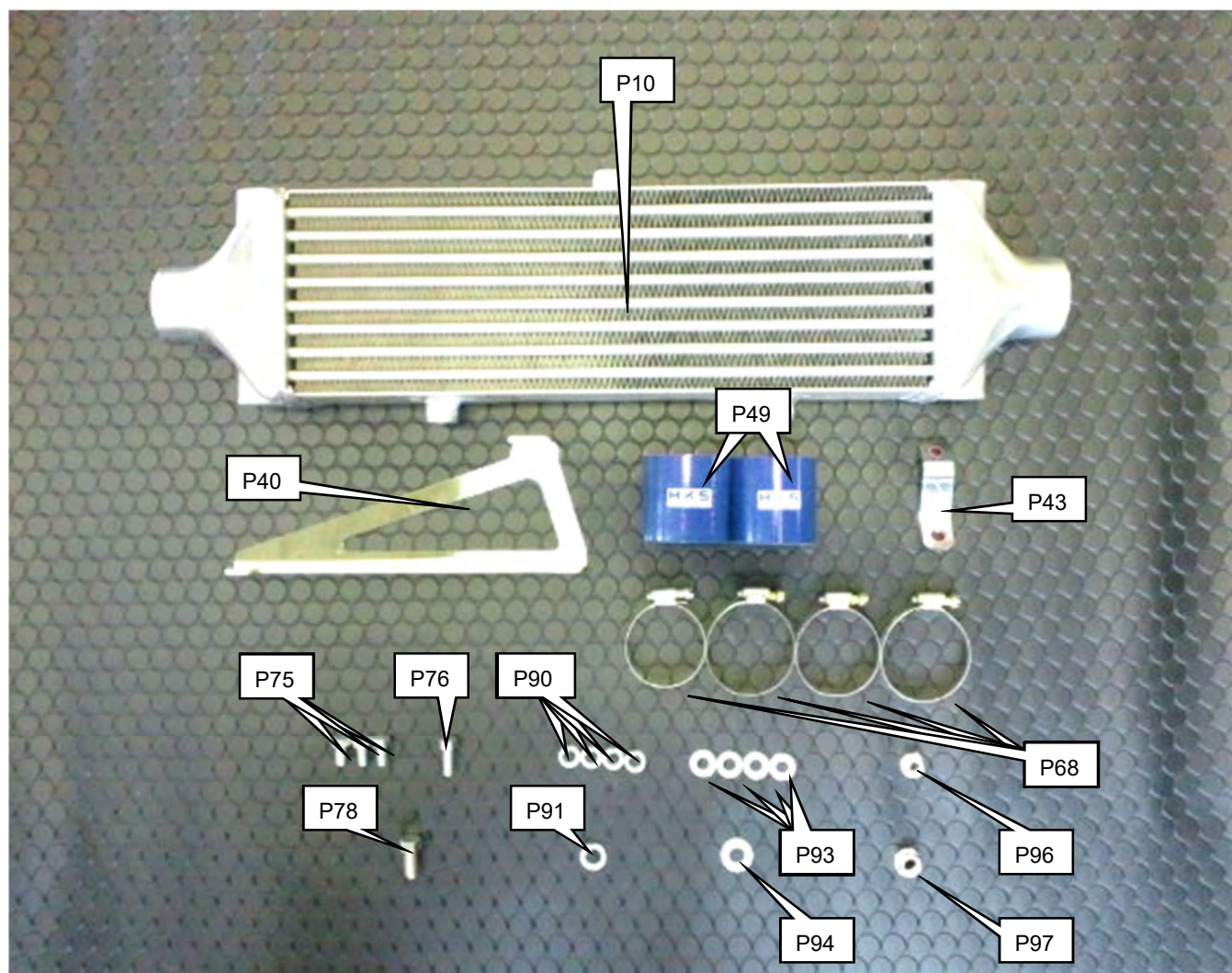
締付けトルク N・m(kgf・m)

T=43 (4. 38)

4. インタークーラー・パイピング取付け

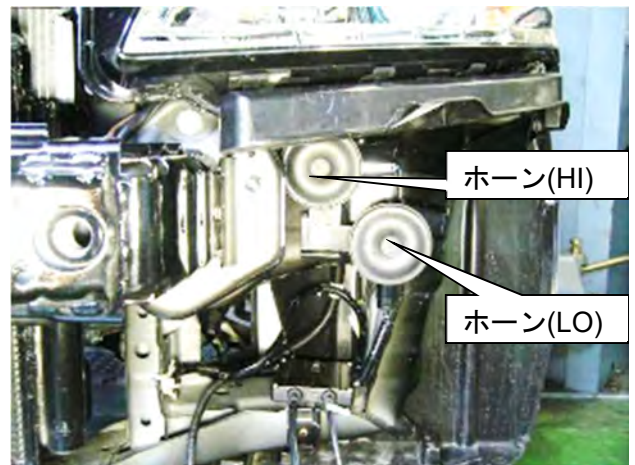
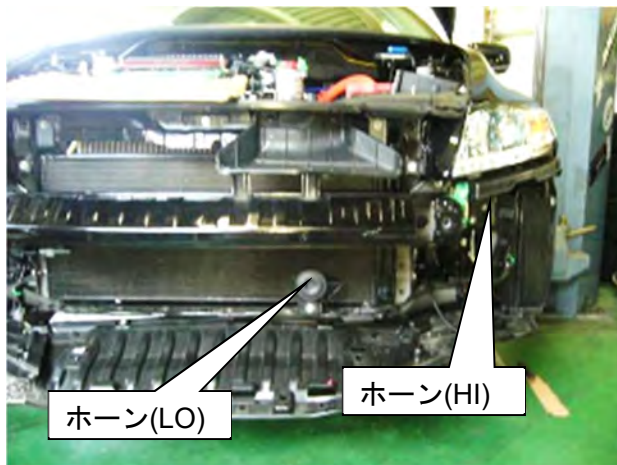
・インタークーラー取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P10	インタークーラー	1
P40	トラクションフルードクーラーブラケット No.3	1
P43	インタークーラーブラケット	1
P49	シリコンホース $\phi 50$ L=55	2
P68	ホースバンド #28	4
P75	六角ボルト M8 L=15	3
P76	六角ボルト M8 L=20	1
P78	六角ボルト M10 L=20	1
P90	スプリングワッシャ M8	4
P91	スプリングワッシャ M10	1
P93	ワッシャ M8	4
P94	ワッシャ M10	1
P96	フランジナット M8	1
P97	フランジナット M10	1

(1) 純正ホーン(LO)を取外し、純正ホーン(HI)に共締めする。



(2) トラクションフルードクーラーブラケット No,3 を

①六角ボルト M8 L=15

②スプリングワッシャ M8

③ワッシャ M8

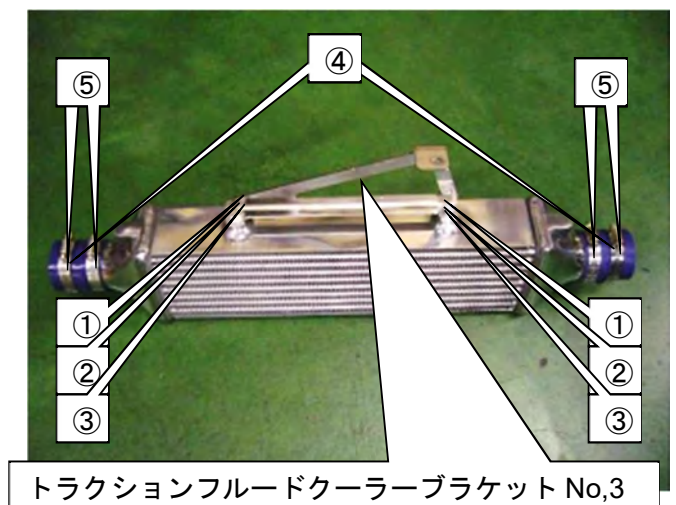
を用いインタークーラーに仮付けし、

(3)インタークーラー-ASSY に

④シリコンホース $\phi 50$ L=55

⑤ホースバンド #28

を通す。



(4)インタークーラーブラケットを

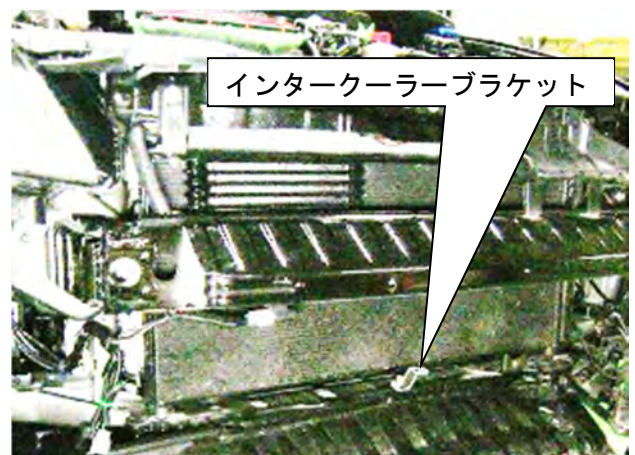
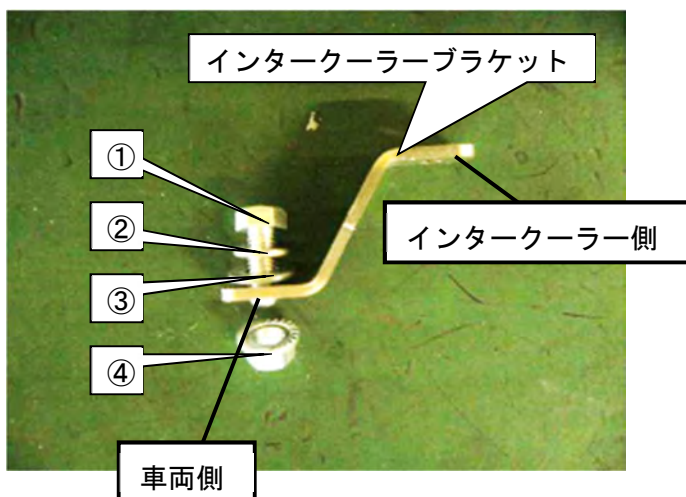
①六角ボルト M10 L=20

②スプリングワッシャ M10

③ワッシャ M10

④フランジナット M10

を用い、車両に仮付けする。



(5) インタークーラー-ASSY を

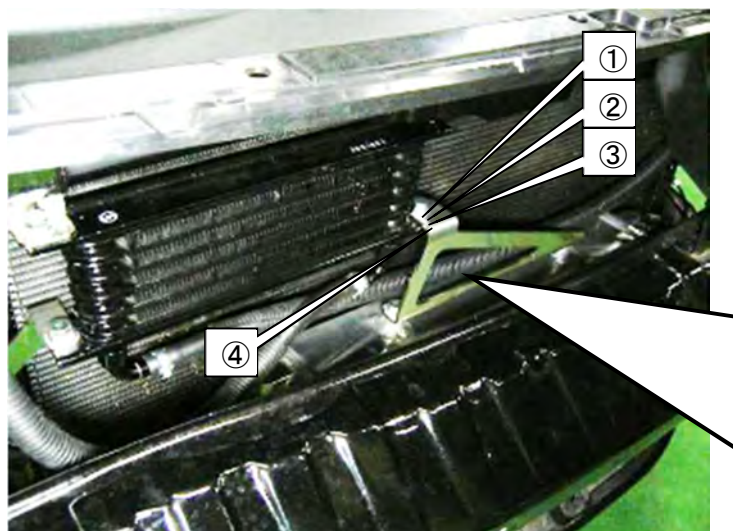
①六角ボルト M8 L=20

②スプリングワッシャ M8

③ワッシャ M8

④フランジナット M8

を用い、トラクションフルードクーラーに仮付けする。



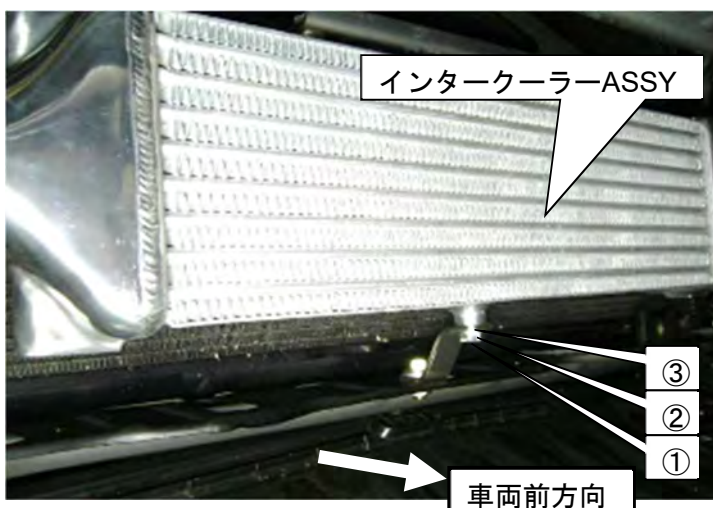
(6) インタークーラー-ASSY を

①六角ボルト M8 L=15

②スプリングワッシャ M8

③ワッシャ M8

を用い、車両と仮付けし位置出しをして、
仮付けした各ボルト・ナットを本締めする。



(7) トラクションフルードホース φ8 と他部品が
干渉しないように図中①部に
タイラップ を用い、固定する。

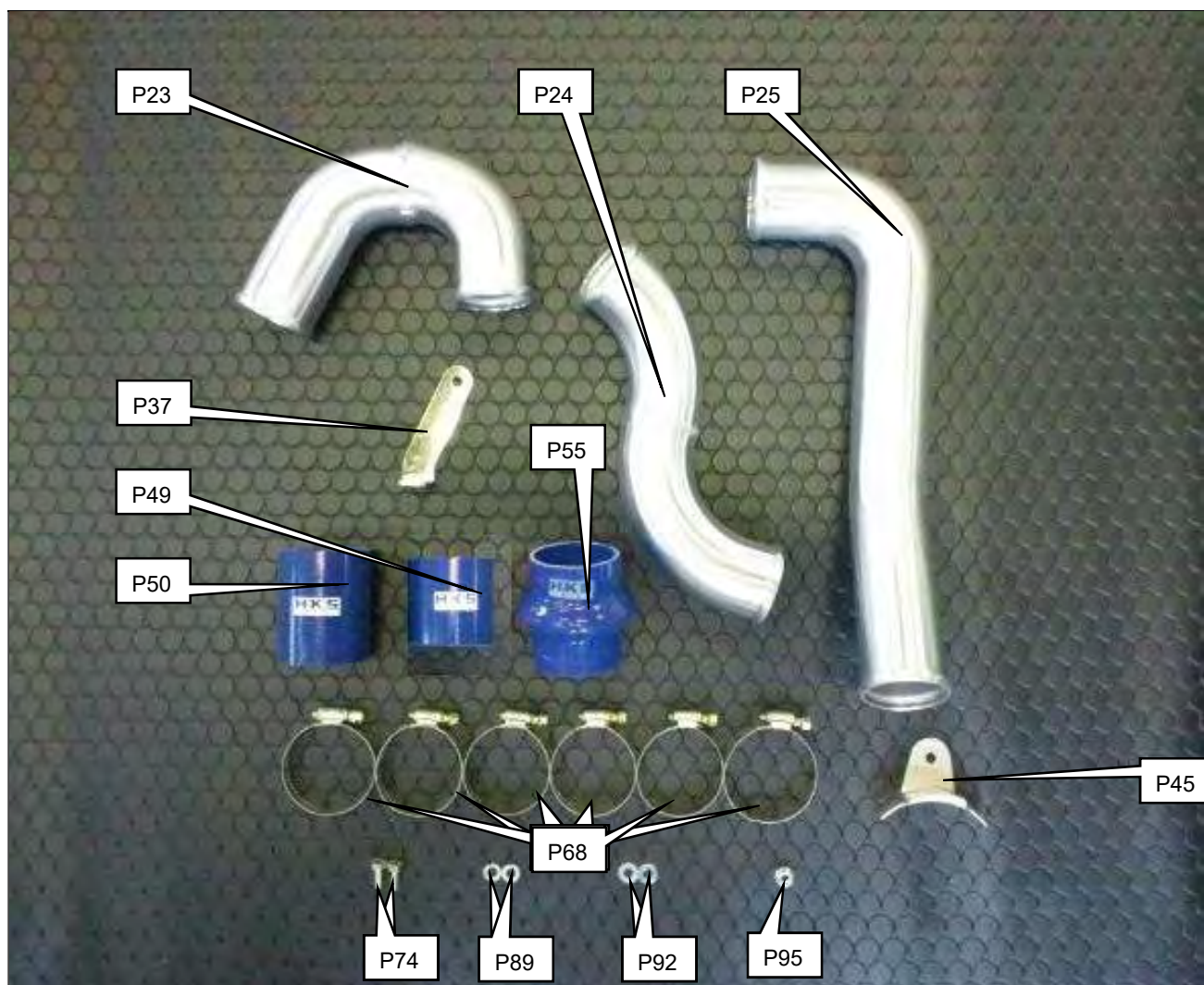
アドバイス

・指示箇所以外にも必要に応じてタイラップ を用い
トラクションフルードホースが他部品と
干渉しないように固定する。



・インタークーラーインレットパイプ取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P23	インタークーラーインレットパイプ No.1	1
P24	インタークーラーインレットパイプ No.2	1
P25	インタークーラーインレットパイプ No.3	1
P37	インタークーラーインレットパイプブラケット	1
P45	汎用パイプブラケット φ50 用	1
P49	シリコンホース φ50 L=55	1
P50	シリコンホース φ50 L=70	1
P55	クッションホース φ50 L=75	1
P68	ホースバンド #28	6
P74	六角ボルト M6 L=15	2
P89	スプリングワッシャ M6	2
P92	ワッシャ M6	2
P95	フランジナット M6	1

(8)インタークーラーインレットパイプ No,2 に

- ①シリコンホース φ50 L=70
- ②汎用パイプブラケット φ50 用
- ③ホースバンド #28
- ④六角ボルト M6 L=15
- ⑤スプリングワッシャ M6
- ⑥ワッシャ M6
- ⑦フランジナット M6

を用い、

⑧インタークーラーインレットパイプブラケット
を仮付けし、

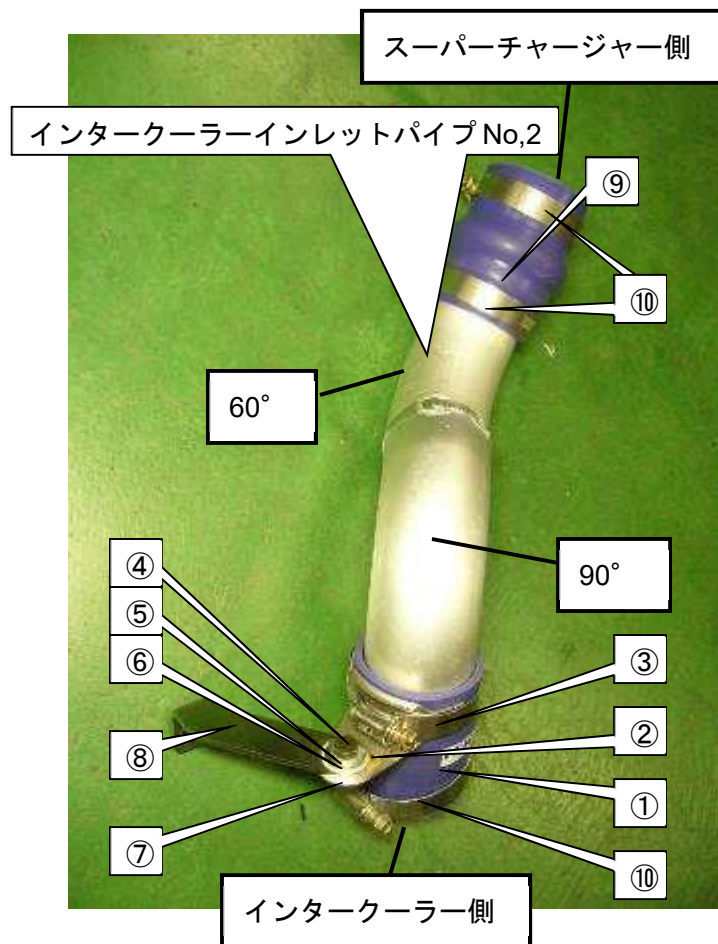
⑨クッションホース φ50 L=75

⑩ホースバンド #28

を通す。

アドバイス

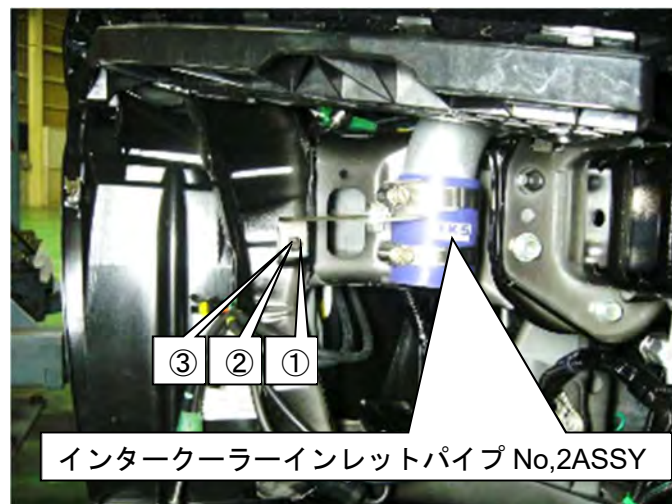
・⑧インタークーラーインレットパイプブラケット
は、②汎用パイプブラケット φ50 用の
上側になるように取付ける。



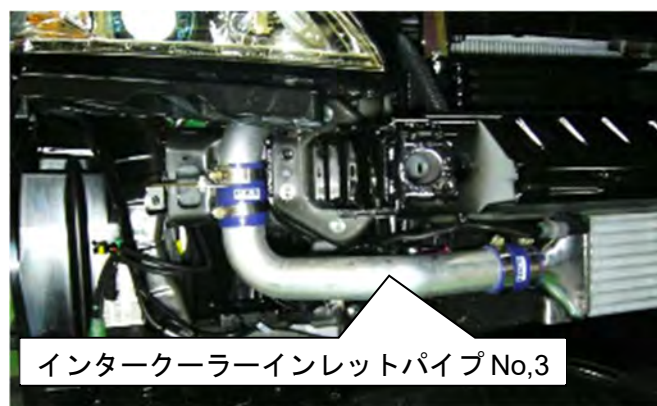
(9)インタークーラーインレットパイプ No,2ASSY を

- ①六角ボルト M6 L=15
- ②スプリングワッシャ M6
- ③ワッシャ M6

を用い、車両に仮付けする。



(10)インタークーラーインレットパイプ No,3 を
車両に仮付けする。



(11)インタークーラーインレットパイプ No,1 を

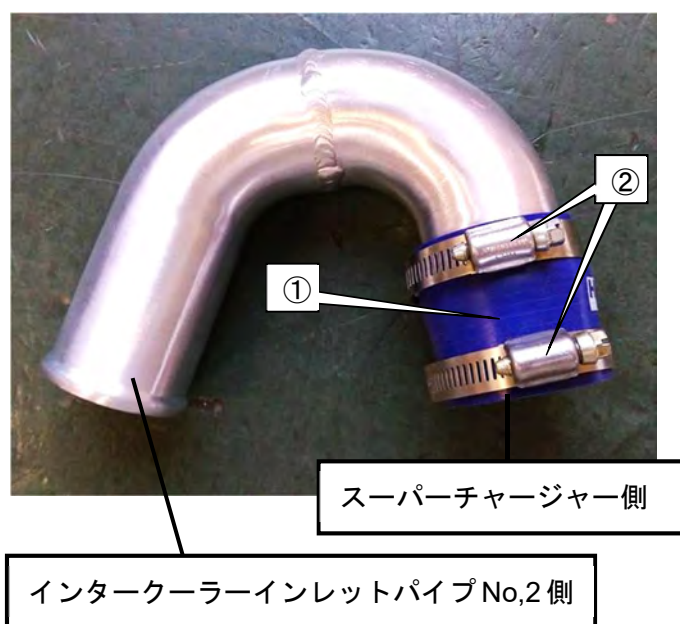
①シリコンホース φ50 L=55

②ホースバンド #28

を用い、車両に仮付けし、インタークーラーインレットパイプ No,1.2.3 の位置出しをして
仮付けした、各ボルト・ホースバンドを本締めする。

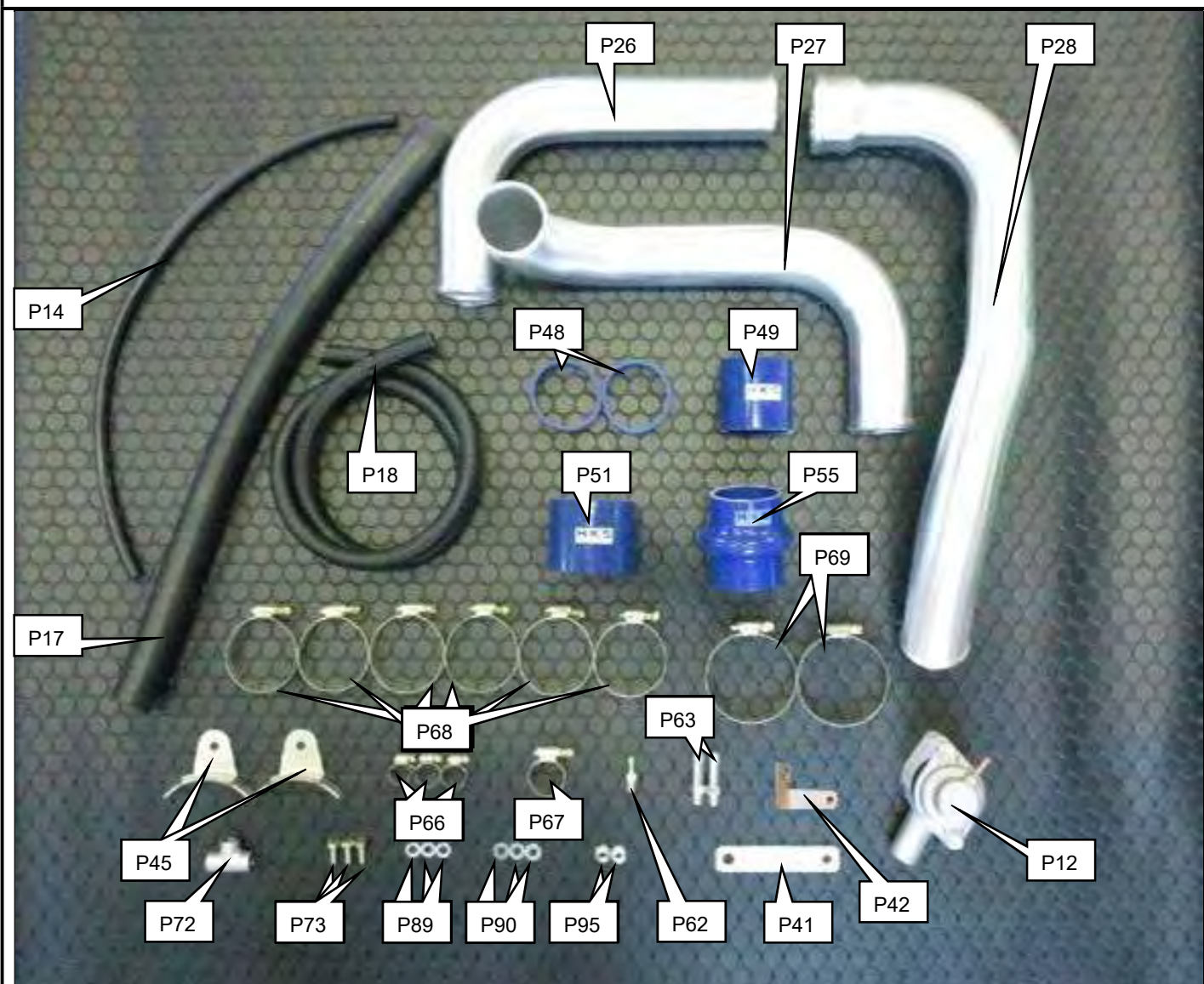
アドバイス

・取付けたパイプと車両との干渉を確認し、干渉する可能性のある場所には
付属のスポンジシートを貼り付ける。



・インタークーラーアウトレットパイプ取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P12	リリーフバルブ ASSY	1
P14	ホース $\phi 4$	1
P17	ホース $\phi 22$	1
P18	耐油ホース $\phi 10$	1
P26	インタークーラーアウトレットパイプ No,1	1
P27	インタークーラーアウトレットパイプ No,2	1
P28	インタークーラーアウトレットパイプ No,3	1
P41	インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,1	1
P42	インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,2	1
P45	汎用パイプブラケット $\phi 50$ 用	2
P48	シリコンホース $\phi 50$ L=20	2
P49	シリコンホース $\phi 50$ L=55	1
P51	シリコンホース $\phi 60$ L=55	1

P55	クッションホース $\phi 50$ L=75	1
P62	ホースニップル $\phi 4$ 用	1
P63	ホースニップル $\phi 10$ 用	2
P66	ホースバンド #4	3
P67	ホースバンド #16	1
P68	ホースバンド #28	6
P69	ホースバンド #36	2
P73	チーズ PT1/8	1
P74	六角ボルト M6 L=15	3
P89	スプリングワッシャ M6	3
P92	ワッシャ M6	3
P95	フランジナット M6	2

(12)インタークーラーアウトレットパイプ No,1 を
車両に仮付けする。



(13)インタークーラーアウトレットパイプ No,2 に

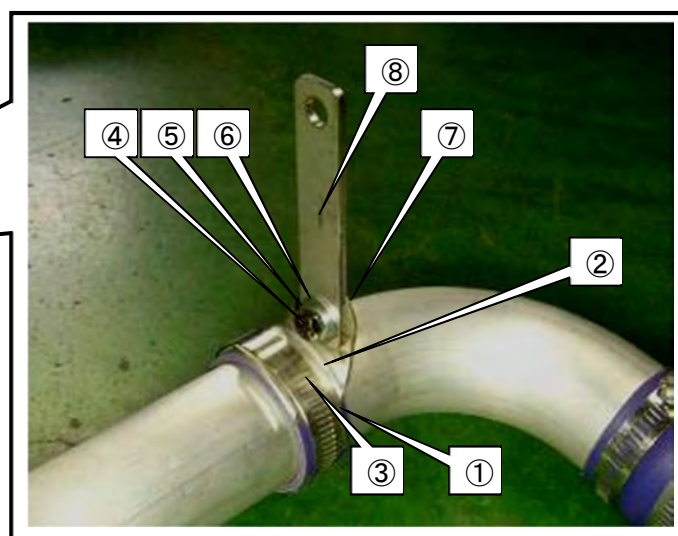
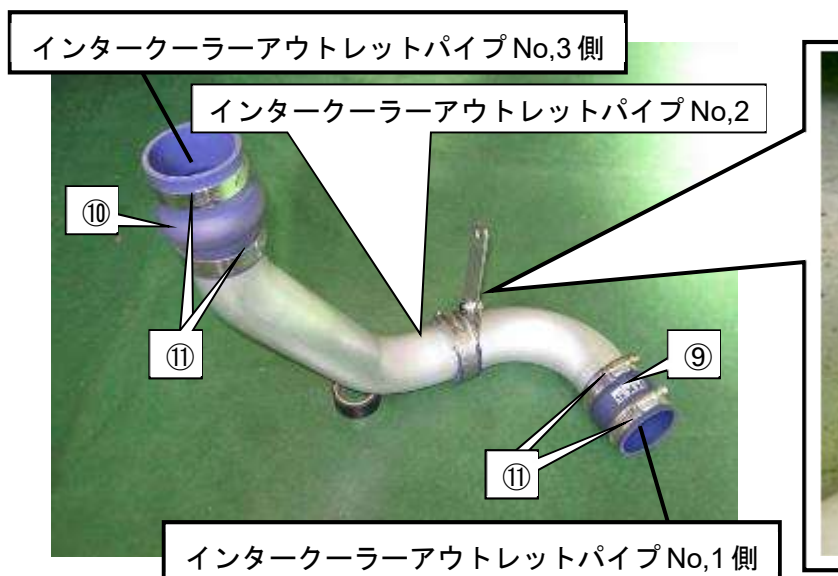
- ①シリコンホース φ50 L=20
- ②汎用パイプブラケット φ50 用
- ③ホースバンド #28
- ④六角ボルト M6 L=15
- ⑤スプリングワッシャ M6
- ⑥ワッシャ M6
- ⑦フランジナット M6

を用い、

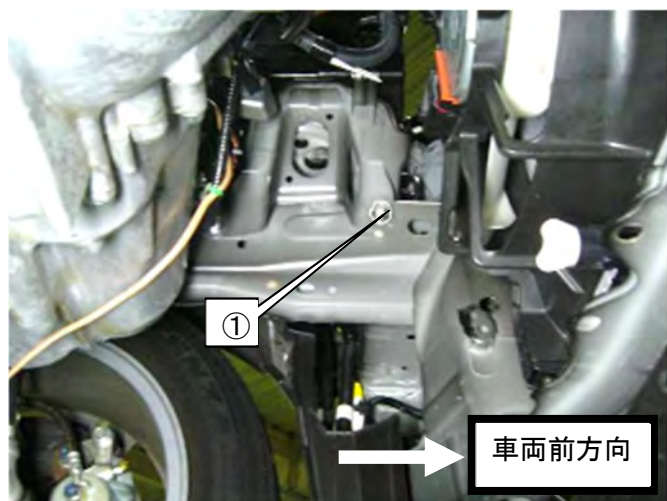
⑧インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,1
を仮付けし、

- ⑨シリコンホース φ50 L=55
- ⑩クッションホース φ50 L=75
- ⑪ホースバンド #28

を通す。



(14)①ボルトを取外し、インタークーラーアウトレットパイプ No,2 を仮付けする。



(15)リリーフバルブ ASSY 内のガスケットを間に挟み、

①インタークーラーアウトレットパイプ No,3

にリリーフバルブ ASSY を取付ける。

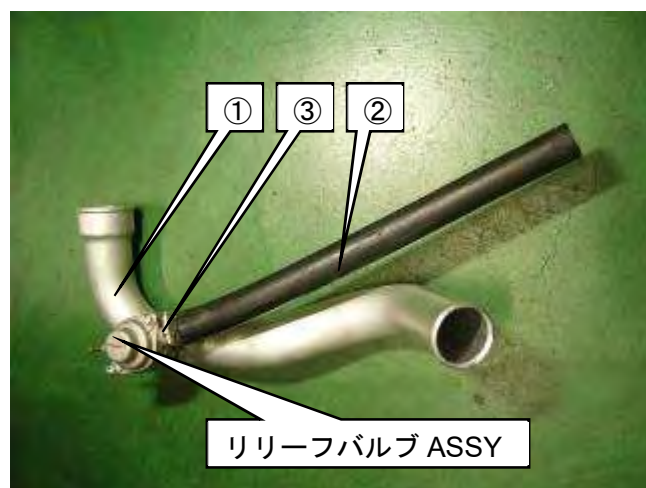
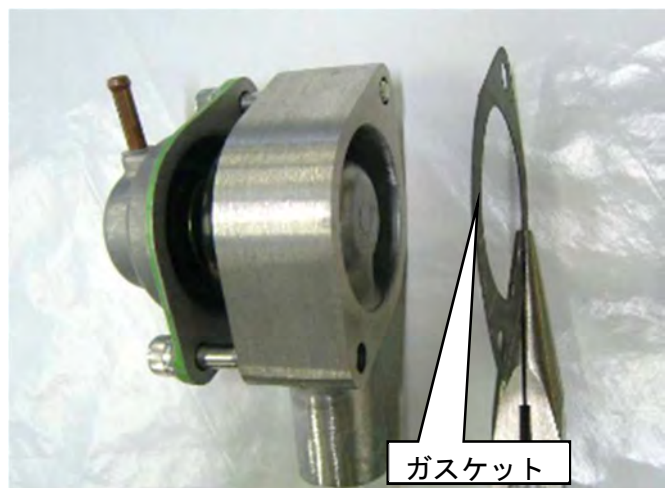
(16)ホース $\phi 22$ を 420mm に切断する。

(17)リリーフバルブ ASSY に

②ホース $\phi 22$ L=420mm

③ホースバンド #16

を取付ける。



(18) インタークーラーアウトレットパイプ No,3 に

- ①シリコンホース φ50 L=20
- ②汎用パイプブラケット φ50 用
- ③ホースバンド #28
- ④六角ボルト M6 L=15
- ⑤スプリングワッシャ M6
- ⑥ワッシャ M6
- ⑦フランジナット M6

を用い、

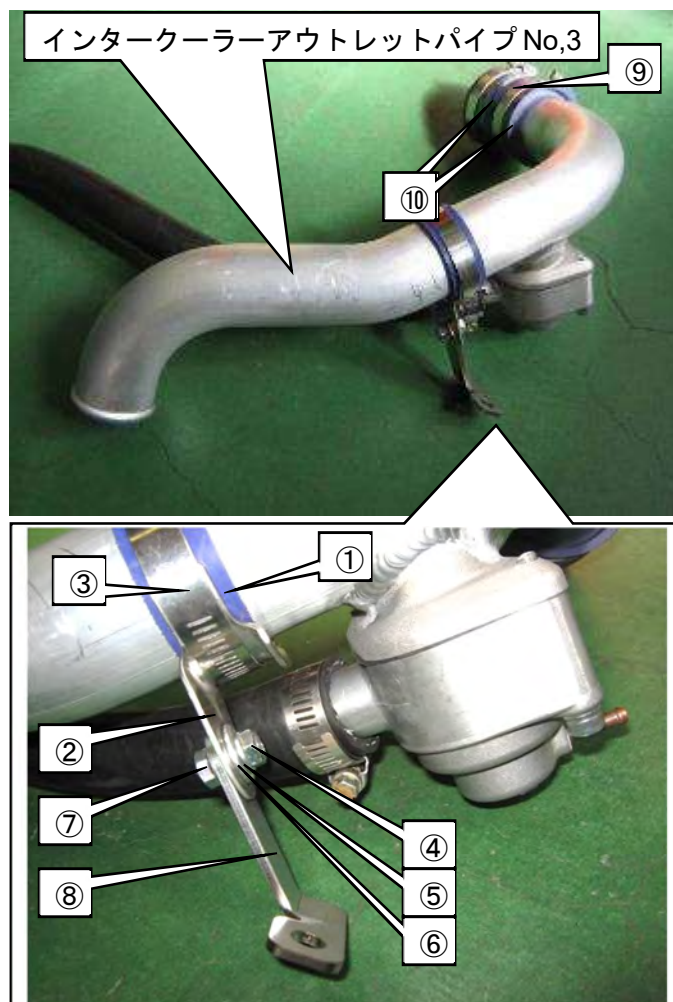
⑧インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,2

を仮付けし、

⑨シリコンホース φ60 L=55

⑩ホースバンド #36

を通す。



(19)インタークーラーアウトレットパイプ No,3 ASSY を

- ①六角ボルト M6 L=15
- ②スプリングワッシャ M6
- ③ワッシャ M6

を用い、車両に仮付けする。

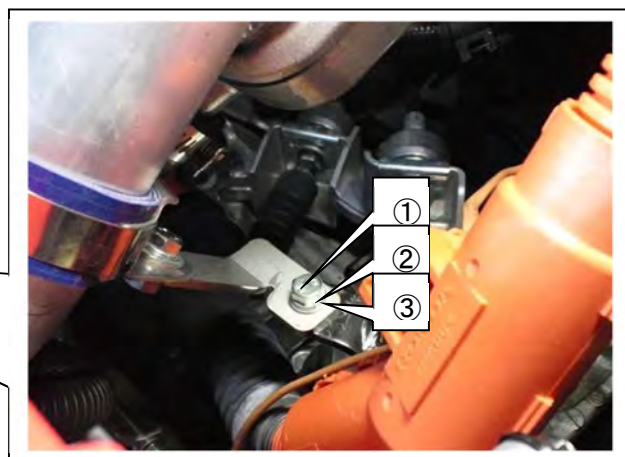
インタークーラーアウトレットパイプ No,1,2,3 の位置決めをし、

仮付けした各ボルト・ホースバンドを本締めする。

アドバイス

- ・取付けたパイプと車両との干渉を確認し、干渉する可能性のある場所には付属のスポンジシートを貼り付ける。

インタークーラーアウトレットパイプ No,3ASSY



(20) トラクションフルードホース $\phi 8$ と他部品が干渉しないように図中①部にタイラップを用い、固定する。

アドバイス

- ・ 指示箇所以外にも必要に応じてタイラップを用いトラクションフルードホースが他部品と干渉しないように固定する。
- ・ トラクションフルードホースがキンクしないことを確認し固定する。



(21)耐油ホース $\phi 10$ を 80mm・620mm、ホース $\phi 4$ を 450mm に切断する。

(22)①チーズ

②ホースバンド #4

③ホース $\phi 4$ L=450

④耐油ホース $\phi 10$ L=80

⑤ホースニップル $\phi 4$ 用

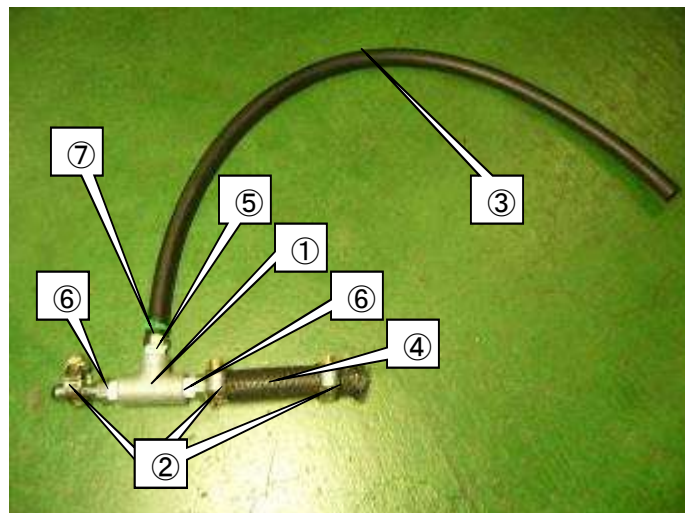
⑥ホースニップル $\phi 10$ 用

⑦タイラップ

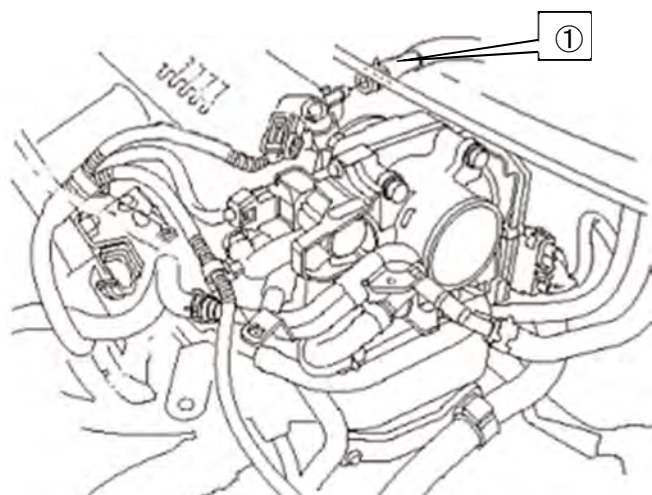
を用い、リリーフバルブ作動圧配管を組み立てる。

アドバイス

- ・ ホースニップル取付けの際にはシールテープを使用する。



(23)①純正バキュームホースを取外し、リリースバルブ作動圧配管を取付ける。



(24)リリースバルブ作動圧配管を

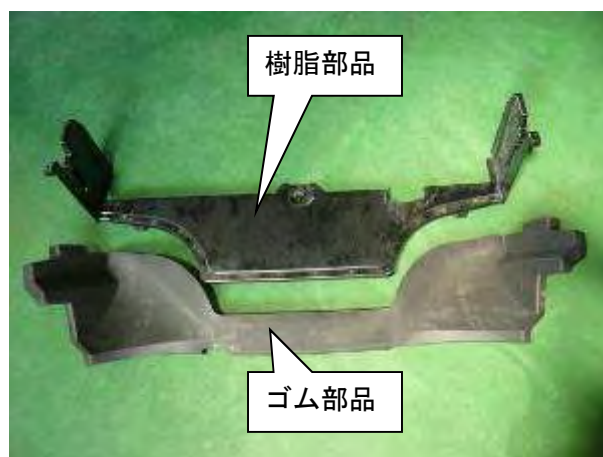
①タイラップ

を用い、リリースバルブ ASSY に取付ける。



・純正フロントバンパエアガイド加工

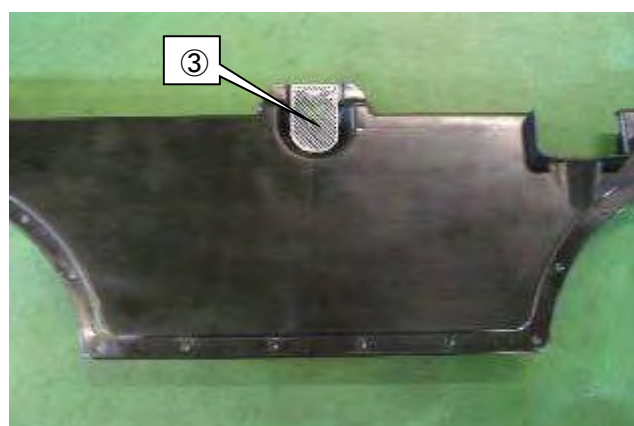
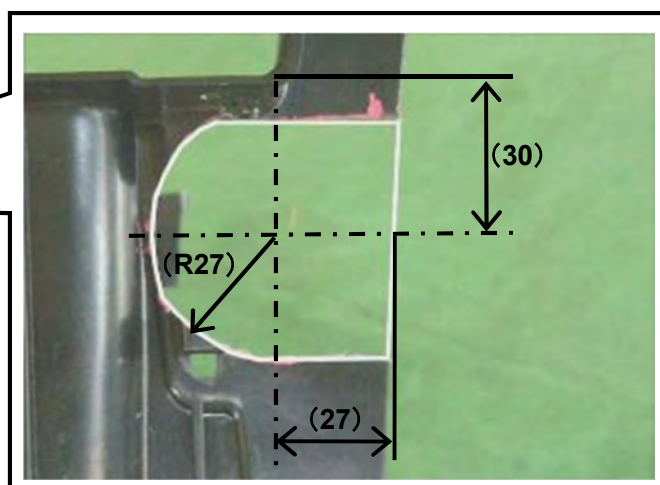
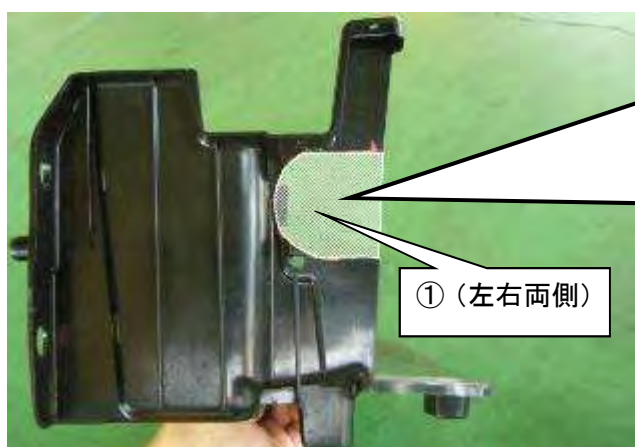
(25)車両から取外した純正フロントバンパエアガイドを樹脂部品とゴム部品に分離する。



(26)樹脂部品の①（左右両側）・②・③斜線部を切取る。

アドバイス

・ 図中寸法は目安のため、必ず現物合わせで調整を行なう。

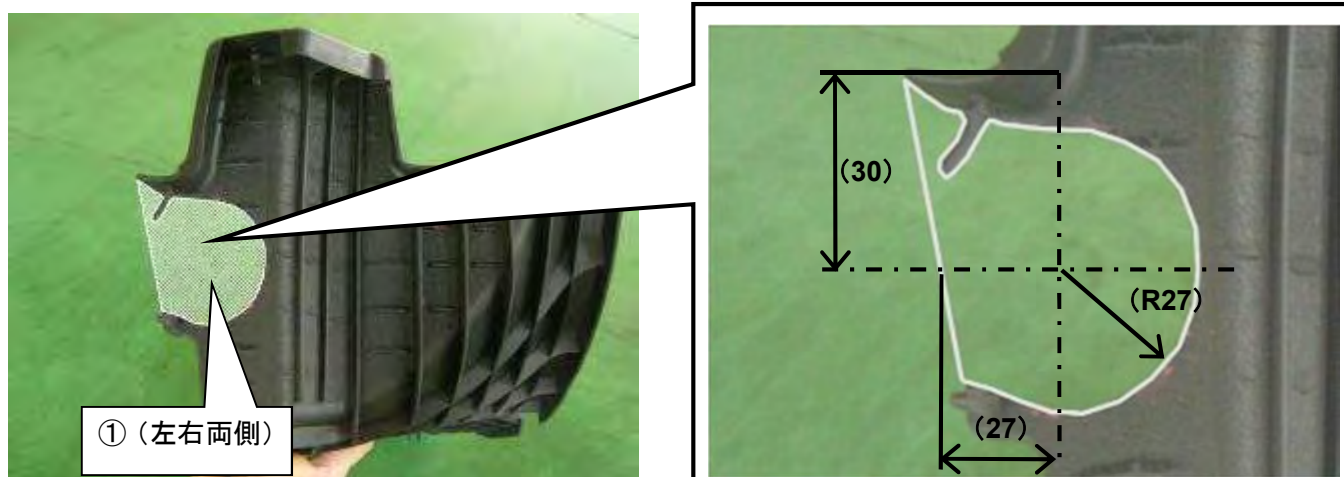


(27)加工した純正フロントバンパエアガイド（樹脂部品）を
純正ボルト・純正クリップを用い、車両に取付ける。

(28)車両から取外した純正フロントバンパエアガイドのゴム部品の①（左右両側）斜線部を切取る。

アドバイス

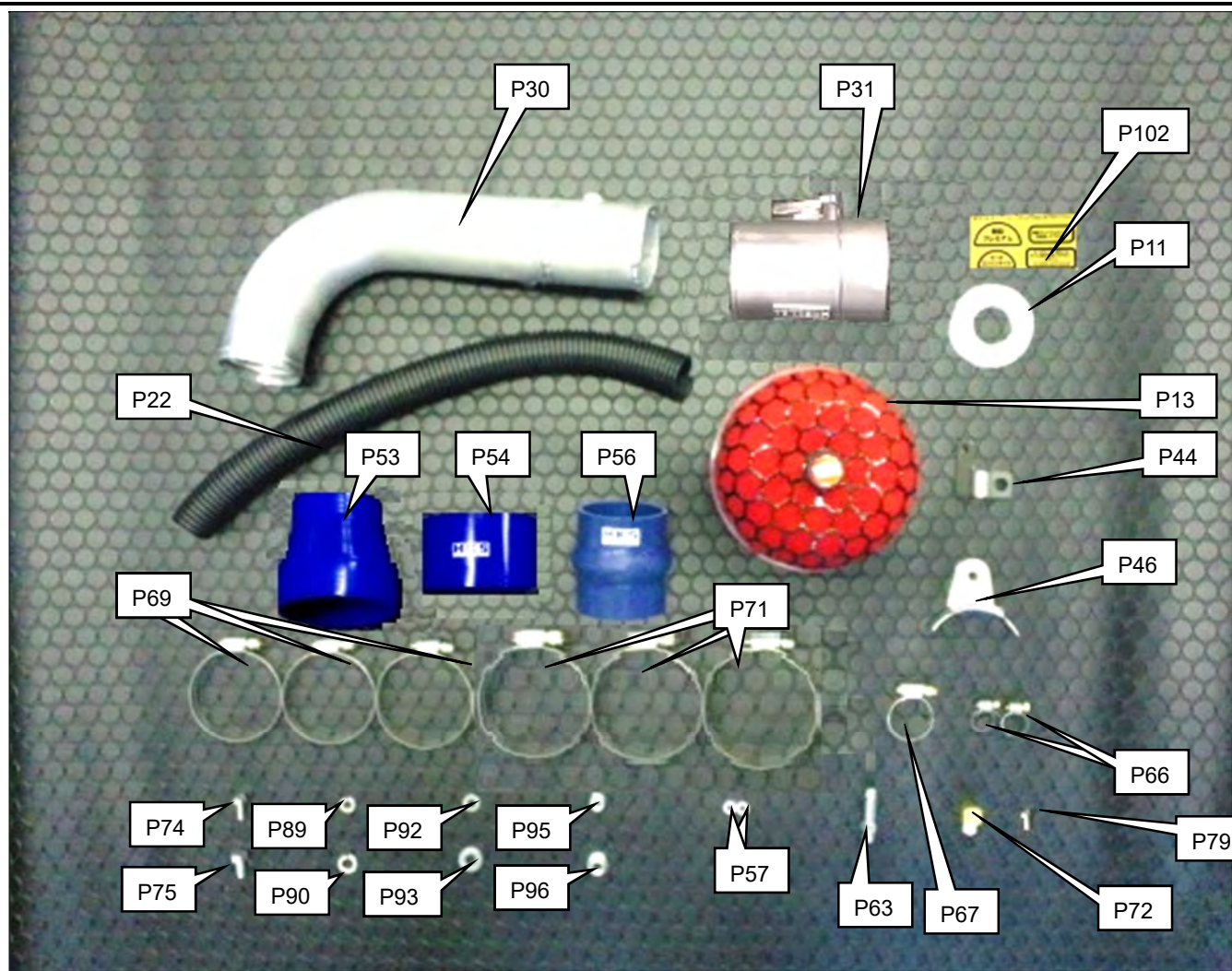
- ・ 図中寸法は目安のため、必ず現物合わせで調整を行なう。
- ・ ゴム部品と樹脂部品を接続する為のゴム突起は切取らない。



(29)加工した純正フロントバンパエアガイド（ゴム部品）を車両に取付ける。

・サクシオンパイプ取付け

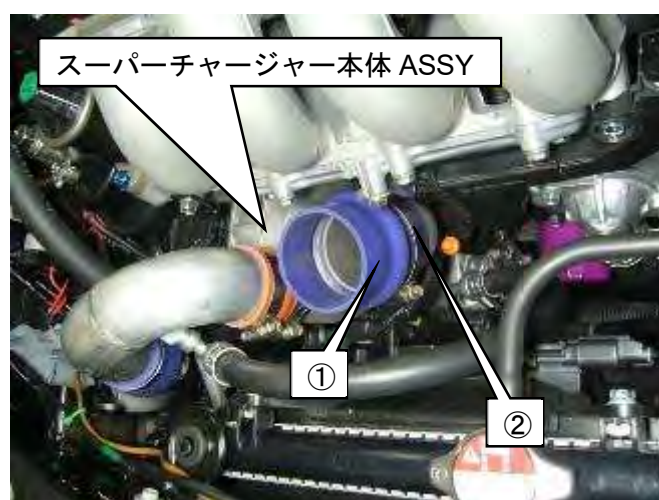
パーツリスト



No.	品名	数量
P11	リストリクタ φ27	1
P13	エアクリーナ	1
P22	コルゲートチューブ φ22 用	1
P30	サクシオンパイプ No.2	1
P31	サクシオンアダプタ	1
P44	サクシオンパイプブラケット	1
P46	汎用パイプブラケット φ80 用	1
P53	シリコンホース φ80 L=55	1
P54	異形シリコンホース φ60-φ80	1
P56	クッションホース φ60 L=75	1
P57	スペーサ M4 L=1.5	2
P63	ホースニップル φ10 用	1
P66	ホースバンド #4	2
P67	ホースバンド #16	1
P69	ホースバンド #36	3

P71	ホースバンド #48	3
P72	エルボ PT1/8	1
P74	六角ボルト M6 L=15	1
P75	六角ボルト M8 L=15	1
P79	ボタンボルト M4 L=12	1
P89	スプリングワッシャ M6	1
P90	スプリングワッシャ M8	1
P92	ワッシャ M6	1
P93	ワッシャ M8	1
P95	フランジナット M6	1
P96	フランジナット M8	1
P102	ハイオクステッカー	1

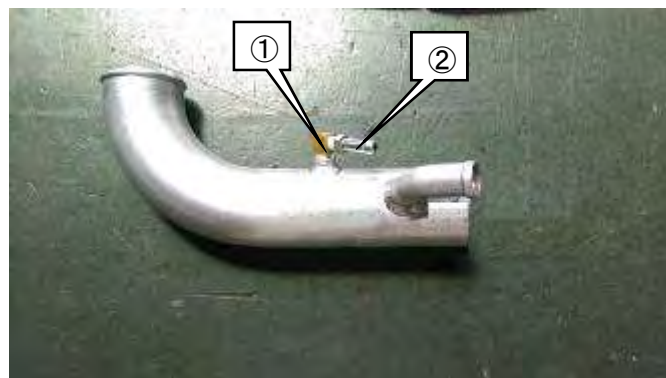
(30)①クッションホース φ60 L=75 を
 ②ホースバンド #36
 を用い、
 スーパーチャージャー本体 ASSY に取付ける。



(31)サクションパイプ No,2 に
 ①エルボ
 ②ホースニップル φ10 用
 を取付ける。

アドバイス

・ホースニップル取付けの際には
 シールテープを使用する。



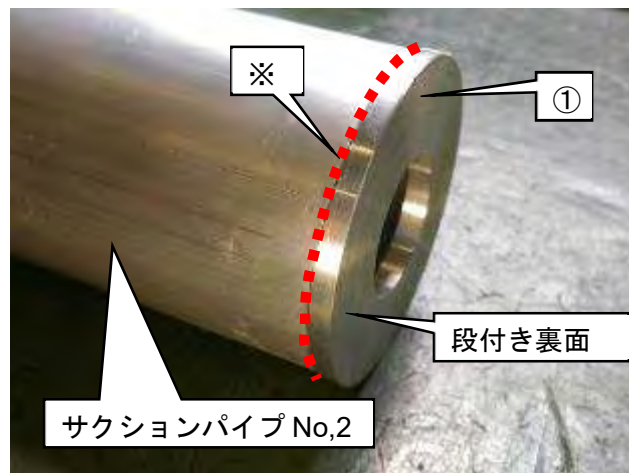
(32)サクションパイプ No,2ASSY に

①リストリクタを取付ける。

その際右図の※部を溶接もしくは耐熱アルミテープでしっかりと固定する。

アドバイス

- ・ リストリクタは円周部が段付きになっている面をサクションパイプ No,2 側にする。
- ・ リストリクタは下表を参考に
車両の仕様に合わせて、選定を行う必要がある。



仕様	リストリクタ径
JDM 純正燃料パーツ（燃料ポンプ・インジェクタ）仕様	φ27（本製品同封）
JDM HKS Fuel Upgrade Kit装着仕様	φ34（Fuel Upgrade Kit同封）

警告

- ・リストリクタにより出力の調整を行っています。装着する車両の仕様に合わせてリストリクタ内径を選定してください。意図しない出力となり、エンジンが破損する可能性があります。
 - ・リストリクタの固定は確実に行って下さい。
- リストリクタにズレや外れが生じた場合、最悪エンジンの破損に繋がります。

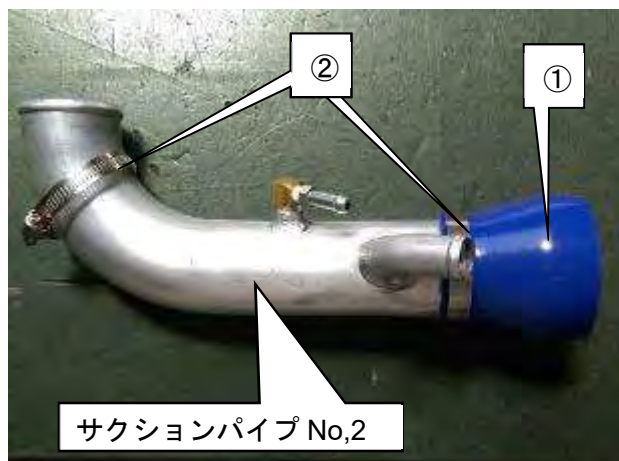
(33)サクションパイプ No,2 に

①異形シリコンホース φ60-φ80 を

②ホースバンド #36 を使って取り付ける。

アドバイス

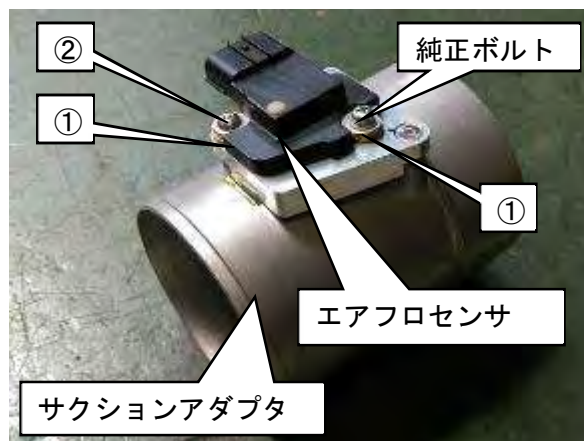
この際リストリクタがしっかりと固定されているか再度確認する。



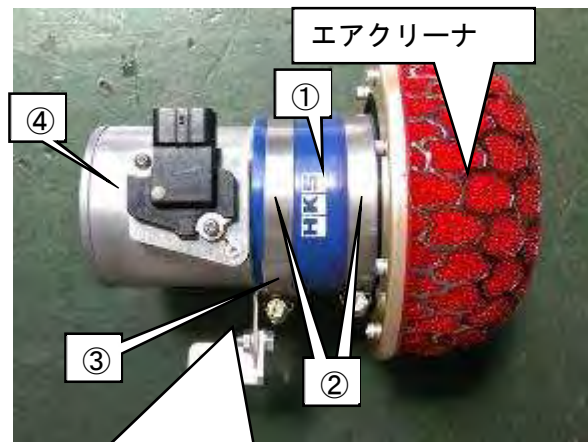
(34)(33)でパイプに通したホースバンド #36
を用い、サクションパイプ No,2 ASSY を車両に仮付けする。



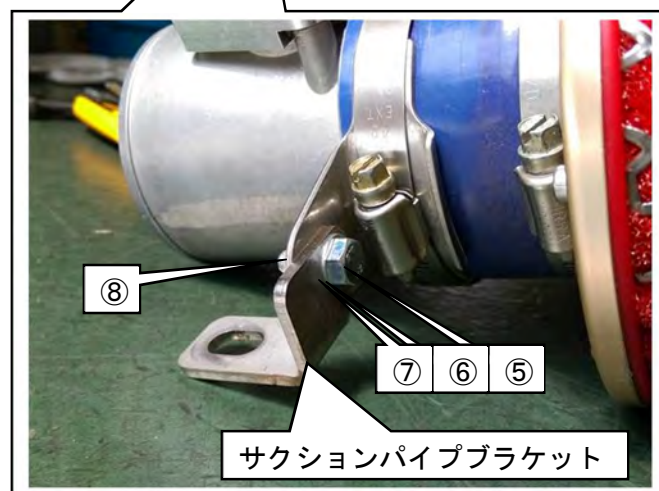
(35)純正エアクリーナから取外した
エアフロセンサとサクションアダプタの間に
①スペーサ M4 L=1.5 を挟み
②ボタンボルト M4 L=12
純正ボルトを用いサクションアダプタに取付ける。



(36) エアクリーナを
①シリコンホース $\phi 80$ L=55
②ホースバンド #48
③汎用パイプブラケット $\phi 80$ 用
を用い、
④サクションアダプタ
に仮付けする。



(37)サクションパイプブラケットを
⑤六角ボルト M6 L=15
⑥ワッシャ M6
⑦スプリングワッシャ M6
⑧フランジナット M6
を用い、
④サクションアダプタに
仮付けする。



(38) サクションアダプタ Assy を

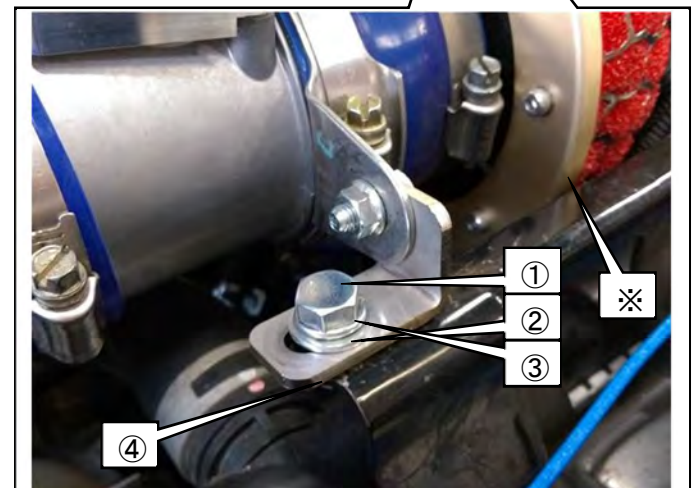
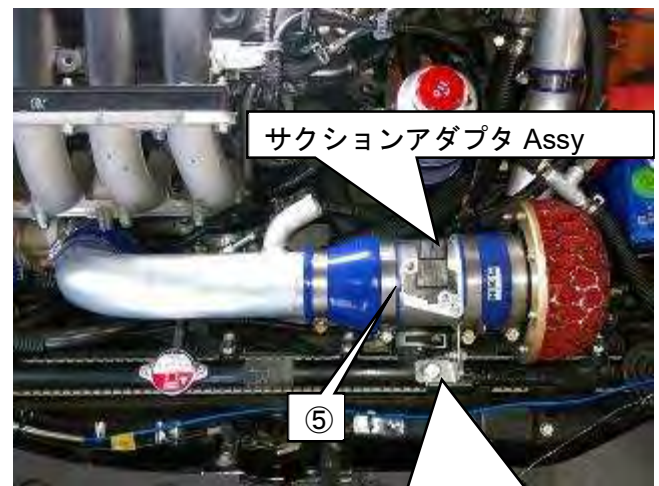
- ①六角ボルト M8 L=15
- ②ワッシャ M8
- ③スプリングワッシャ M8
- ④フランジナット M8
- ⑤ホースバンド #48

を用い、車両に仮付けし

サクションパイプ No.2.との位置出しをして、
仮付けしたボルト・フランジナット・ホースバンドを
本締めする。

アドバイス

- ・ サクションアダプタ Assy はエアフロセンサ
取付け面が地面と平行になるように取付ける。
- ・ 右図※部はエアクリーナと純正ブラケットの
距離が近くなる為、接触しないよう
位置を調整し取り付ける。



(39) リリーフバルブに取付けたホースφ22 を

- ①ホースバンド #16
- を用い、サクションパイプ No.2 に接続する。

(40) コルゲートチューブφ22 用を L=400mm に切断する。

(41) 車両に取付けたホースφ22 L=420mm に

- ②コルゲートチューブφ22 用 L=400
- を取付ける。

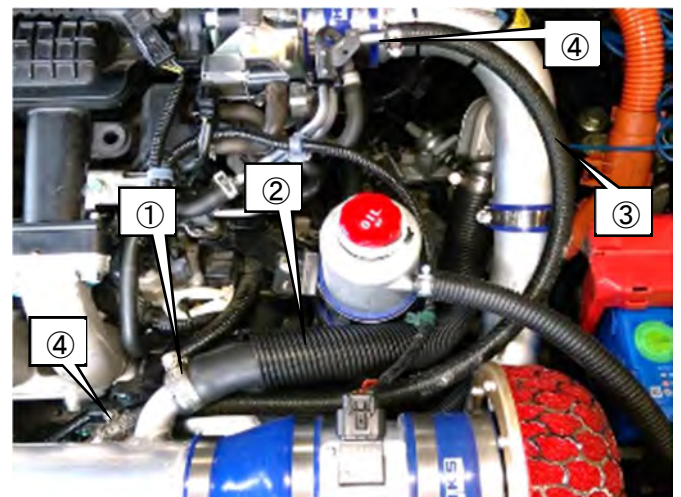
(42) ③耐油ホースφ10 L=620mm を

- ④ホースバンド #4

を用い、
純正ブローバイ配管とサクションパイプ No.2 に接続する。

(43) 純正エアフロセンサコネクタをエアフロセンサに取付ける。

(44) ガソリン給油口付近にハイオクシールを貼付ける。



5. ノーマルパーツ取付け

整備要領書に従って作業を行なう。

- (1)フロントバンパセンターアッパービームを取付ける。
- (2)フロントバンパを取付ける。
- (3)フロントバンパセンターシールを取付ける。
- (4)フロントバンパサイドカバーを取付ける。
- (5)運転席側・助手席側スプラッシュシールドを取付ける。
- (6)エンジンアンダーカバーを取付ける。

6. トラクションフルード注入

パーツリスト



No.	品名	数量
P4	トラクションフルード	1

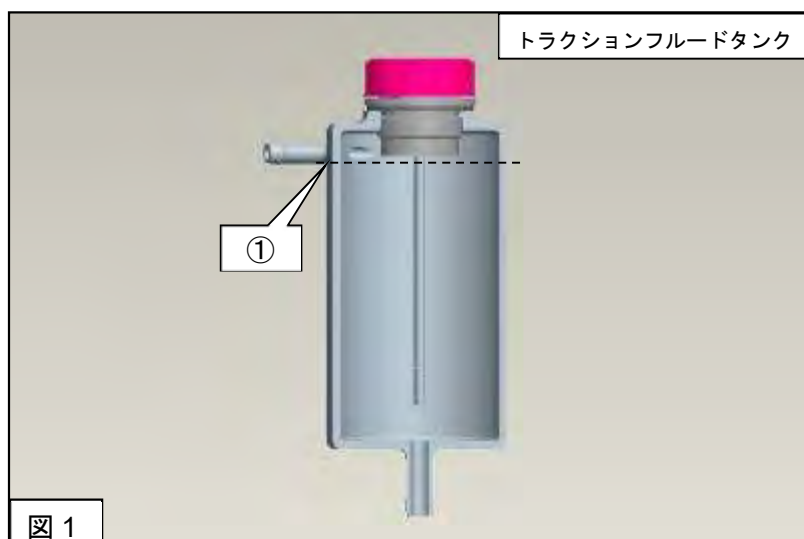


注意

スーパーチャージャーAssy の内部構成部品は精密部品です。

トラクションフルードに異物が混入するとスーパーチャージャーAssy が破損します。
トラクションフルード配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないように
作業を行ってください。

- (1) トラクションフルードタンク内に異物が無い事を確認し、トラクションフルードを
図1 ①のトラクションフルードタンク内のリターンパイプの穴位置まで注入してください。



7. エンジン ECU データ書き換え

パーツリスト



No.	品名	数量
P105	初期化ツール(USB メモリ)	1



注意

本製品はプロキットとなっており、キット内のパーツのみでは走行できません。制御ユニットに関してはお客様でセットアップし、リセッティングしてご使用ください。

「エンジン ECU 制御に HKS Flash Editor をご使用になる場合」

エンジン ECU の書き換えに Flash Editor (42015-AH102) をご使用になる場合は、FLASH EDITOR の取扱説明書に従い、ECU のリフラッシュ作業を行ってください。

その際、初期化ツールは、本キットに同梱されている初期化ツールを必ずご使用下さい。



警告

- Flash Editor内に同梱されている初期化ツールは12001-AH007(GTS4015HP)用となり、セッティングデータが本キット12001-AH011用と異なりますので、こちらを使用してリフラッシュ作業を行うと、最悪の場合、エンジンの破損に繋がります。

8. 取付け後の確認と、トラクションフルード量調整

本製品を取付けた後、必ず下記の作業を行なってください。

(1) エンジン始動前に下記の事項を確認してください。

	確認項目	確認
1	トラクションフルード配管が正しく行われているか。	
2	トラクションフルードの漏れはないか。	
3	取付けた部品が各部に干渉していないか。	
4	ベルトは張られているか。	
5	プーリーの取付けボルトおよび固定ボルトが確実に締めてあるか。	
6	トラクションフルードがレベルゲージの①マーキングレベルまであるか。(図2)	
7	ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
8	ホースバンドが確実に締まっているか。	
9	ボルト・ナット類が確実にしまっているか。	
10	取付けた部品がしっかりと固定されているか。	

(2) トラクションフルードをビーカー等に約 80ml 準備しておき、エンジンを始動してください。

(3) エンジン始動直後、下記の作業を実施してください。

1. トラクションフルードタンクのトラクションフルードレベルが下がり始め、
トラクションフルードタンクにトラクションフルードが戻ってくる事を確認してください。
2. トラクションフルードタンク内のトラクションフルードが無くならないよう、
無くなる前にビーカー等に準備したトラクションフルードを継ぎ足してください。
その際、トラクションフルードタンクからあふれないようにしてください。

アドバイス

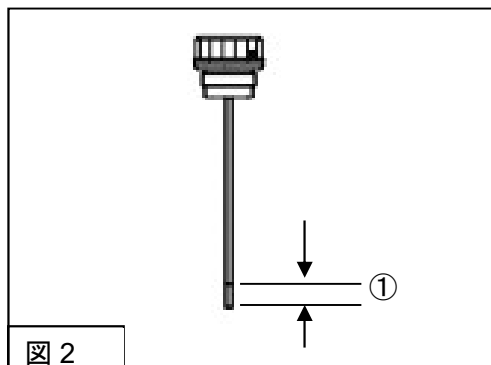
・エンジン始動直後、暖気中にスーパーチャージャーAssy から“ジャラジャラ”といった作動音が聞こえます。これはトラクションフルードが暖まる約 2～3 分後に聞こえなくなるものであり、異常ではありません。

(4) エンジン暖気後に下記の事項を確認してください。

暖気中はエンジンの回転を上げないようにしてください。(アイドリング運転)

	確認項目	確認
1	フルードタンクにトラクションフルードが戻っているか。	
2	トラクションフルード、エアの漏れはないか。	
3	ホース類が引っ張られていないか。	
4	部品による干渉音が無いか。	

(5) 上記項目に異常が無いことを確認した後、エンジン回転数を 2000rpm まであげて 10 秒間維持してください。10 秒経過後エンジンを停止し、トラクションフルードがレベルゲージのマーキングレベル(図 2 ①) まであるか確認し、過不足を調整してください。



※残ったトラクションフルードはトラクションフルードが入っていた容器でキャップをして保存してください。トラクションフルードは特殊な成分により構成されているため、他の容器で保存した場合、成分の変化や容器を侵す場合があります。

(6) トラクションフルードタンクのキャップを閉めてください。

以上で取付け作業は終了です。

9. 1 ヶ月点検の実施

○本製品を取付けてから 1 ヶ月後(40 日以内)に添付の 1 ヶ月点検記録用紙に従い、下記の点検を実施してください。

○本点検により不具合が無いことを確認し、添付の保証登録書に必要事項を記入し、登録を行なってください。

記入方法		異常なし	レ	交換	×	調整	A	締付け	T
点検項目									
GT2 スーパーチャージャー本体の確認									
 警 告 ・作動音確認の際はベルトに手や指、衣服等が巻きこまれないようにしてください。 ・ベルトに巻き込まれた場合重症を負う可能性があります。									
1	取付け時と比較して GT2 スーパーチャージャー駆動機構の作動音が大きくなっていたり、異音が発生していないか								☐
	取付け時と比較してエアクリーナからの吸気音が大きくなっていたり、異音が発生していないか								☐
	トラクションフルードが異常に減少していないか (フルードレベルゲージにフルード液面が触れない程度まで)								☐
2	トラクションフルード配管の点検								
	トラクションフルード配管からの漏れ、ホースクランプの緩みがないか								☐
	確認箇所								
	・スーパーチャージャーとの接続部								☐
	・フルードクーラーとの接続部								☐
	・フルードタンクとの接続部								☐
	・フルードフィルタとの接続部								☐
	トラクションフルードホースに他部品との接触による損傷がないか								☐
	トラクションフルードホースにひび、割れなどが生じていないか								☐
	トラクションフルードがレベルゲージの下端からマーキングまでの間にあるか								☐
3	V リブドベルトの点検								
	V リブドベルトがオートテンショナの調整範囲内になっているか								☐
	V リブドベルトにひび、割れ、欠けなどの損傷がないか								☐
4	ボルトの締付け								
	GT2 スーパーチャージャーの取付けボルトが締まっているか								☐
5	取付けた部品が各部に干渉していないか								☐
	確認箇所								
	・V リブドベルトと各部								☐
	・パイピングと各部								☐
	・リリーフバルブホースと各部								☐
	ホースバンドが確実に締まっているか								☐
	エンジンオイルがレベルゲージの H～L の間にあるか								☐

10. 維持・管理

○トラクションフルードは HKS GT2 スーパーチャージャー専用品です。弊社指定のトラクションフルード以外は絶対に使用しないでください。弊社指定以外のトラクションフルードや、エンジンオイル、ミッションオイル等を使用した場合、HKS GT2 スーパーチャージャーの内部部品が破損します。



注 意

- トラクションフルードは交換不要ですが、運行前には油量の確認を行い、減少している場合にはトラクションフルードを補充してください。

○補充用のトラクションフルードは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
GT S/C TRACTION FLUID I	12002-AK029

※-20℃以下の寒冷地で使用する場合は、下記品番のトラクションフルードをご使用ください。（別売）

商品名	品番
GT S/C TRACTION FLUID II	12002-AK030

○HKS GT2 スーパーチャージャー取付け後、5 年経過または走行距離が 70,000km を超えた場合はトラクションフルードのフィルタを交換してください。

トラクションフルードのフィルタは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
トラクションフルードフィルタ	12002-AK015

○V リブドベルトは消耗部品です。運行前点検時にひび、割れ、欠けなどの損傷がないか確認してください。損傷がある場合には交換してください。弊社指定のベルト以外は使用しないでください。弊社指定以外のベルトを使用した場合、始動時やアイドリング時にベルトの鳴きが発生する恐れがあります。

交換用のベルトは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
V リブドベルト 4PK1240	G13572-K00360-00

※NA 車とはベルト長さが異なります。

○ブローオフバルブのペロフラムは 6 ヶ月ごとに点検してください。ペロフラムに亀裂や切れがあった場合は交換してください。交換用のペロフラムは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
ブローオフバルブペロフラム	12002-AK040

○ エアクリーナは 2,000～3,000km 毎に交換してください。（洗浄はできません。）

使用環境や走行条件によって、この距離は異なります。また、特に汚れが目立つ場合は早めの交換が必要です。交換用のフィルタは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
φ150 交換用フィルタ (湿式 2 層タイプ)	70001-AK031 (レッド)



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181
<https://www.hks-power.co.jp/>